

第2次千葉市文化芸術振興計画年次報告書(平成29年度実施状況及び平成30年度実施計画)【体系順】

基本施策1 文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」

(1) 多彩な文化芸術イベントの開催

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり									
1	基本施策1 (1) ①		千葉市民芸術祭	千葉市文化連盟が市内文化施設等において行う、茶道華道・音楽・文芸・伝統芸能・演劇・美術などの催しにより、多くの市民が芸術文化に触れる機会を創出する。	その他 千葉市文化連盟	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	開催日程：開幕式典2月24日(土) 各行事3月3日(土)～3月25日(日) 会場：千葉市民会館ほか市内9会場 内容：千葉市文化連盟に所属する団体が、茶道華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の分野で計14の行事を開催 来場者数：21,830人	来場者数の増加 (平成28年度32,423人)	開催日程：2月下旬～3月下旬 会場：千葉市民会館ほか市内各会場 内容：千葉市文化連盟に所属する団体が、茶道華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の分野で行事を開催	来場者数の増加 (平成29年度21,830人)	総事業費 10,987	総事業費 13,566	B	
2	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策1(2)② 基本施策2(1)③ 基本施策3(1)② 基本施策4(2)②	ベイサイドジャズ千葉	ジャズを中心とした音楽文化の振興と街の賑わい創出や活性化のため、ジャズストリートを中心としたコンサートなどのジャズイベントを開催する。	(公財)千葉市文化振興財団・ベイサイドジャズ千葉実行委員会	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	ベイサイドジャズ千葉20周年を迎えた平成29年度は、メインイベントとして千葉市民会館で「20周年記念コンサート」、JR千葉駅東口広場などで「ジャズウィーク」、中央地区(JR千葉駅～中央公園・文化センター周辺、千葉みなと)で「ジャズストリート」を実施した。また、プレイベントとして、初開催のアマチュアジャズコンペティションのほか、デモンストレーションやジャズクルージングなど各種イベントも実施した。 -デモンストレーション(7回実施) 7月16日、23日、9月13日、26日、9月3日、10日、14日、来場者合計1,050人 -ジャズウォーク講座(3回実施) 9月2日、16日、24日、定員40人、受講者数21人 -アマチュアジャズコンペティション(1回実施) 8月12日、参加グループ数9グループ、入場者数80人 -ジャズクルージング(2日、各日2回実施) 7月30日(入場者155人)、9月24日(入場者114人) -スチューデントジャズクリニック(2回実施) 9月10日、18日(受講者数53人) -スチューデントジャズコンサート 9月30日(入場者数380人)、会場：中央公園特設ステージ -20周年記念コンサート 9月23日、入場者数609人、会場：千葉市民会館大ホール -ジャズウォーク(4日間実施) 9月25日から9月28日、来場者合計1,400人 -ジャズストリート前夜祭(1回実施) 9月29日、入場者数：298人 -ジャズストリート(1日実施) 9月30日、有料会場17、無料会場8、延べ来場者数：10,288人 -スターダストジャズ(2回実施)【千葉市科学館主催事業】 9月9日、合計入場者数161人 総入場者数 14,609人	来場者数の増加 (平成28年度 11,705人)	千葉中心市街地及び千葉みなと地区の賑わいを創出し、文化芸術を「はぐくむ」まちづくりを目的にベイサイドジャズ「ジャズストリート」を実施する。 また、プレイベントとして、アマチュアジャズコンペティションのほか、デモンストレーションやジャズクルージングなど各種イベントも実施する。 -デモンストレーション(7月～9月・6回) JR千葉駅東口広場ほか -ジャズクルージング(9月1・2回)千葉みなと旅客船ターミナル発着船内 -アマチュアジャズコンペティション(8月11日)文化センター スタジオ I -ジャズストリート前夜祭(9月28日)文化センター アートホール -ジャズストリート(9月29日)文化センターアートホールほか ※有料16会場・無料6会場で開催 -スチューデントジャズクリニック(9月上旬から中旬・全2回)敬愛学園高校音楽室ほか -スチューデントジャズコンサート(9月29日)中央公園特設ステージ ※市内の中・高校生を対象に、プロの音楽家による指導を行った後、ふれあい音楽コンサートで成果を発表する。 -スターダストジャズ(未定・2回)科学館 プラネタリウム	来場者数の増加 (平成29年度は、20周年記念事業が実施されたため、平成28年度 11,705人を基準とする。)	総事業費 20,118	総事業費 13,626	B	
3	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③ 基本施策5(2)①	ワンコインコンサート	市民にプロの演奏家によるコンサートをより身近な場所で気軽に楽しんでもらうため、ワンコインで鑑賞できるコンサートを市内各区で実施する。	その他 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	地域の交流拠点施設である各区コミュニティセンター等を会場として、気軽に立ち寄り聴くことのできる500円(小学生以下100円)のワンコインコンサートを月1回のペースで12回実施した。 日程：4～3月 12回 1回のコンサート時間は60分程度とした。 会場：各区コミュニティセンター、民間施設等 定員：各会場 100名程度 出演：アーティストバンクちば登録アーティスト 他 入場者数 975人	入場者数1,200人	地域の交流拠点施設である各区コミュニティセンター等を会場として、気軽に立ち寄り聴くことのできる500円(小学生以下100円)のワンコインコンサートを月1回のペースで12回実施する。 日程：4～3月 12回 1回のコンサート時間は60分程度とする。 会場：各区コミュニティセンター、民間施設等 定員：各会場 100名程度 出演：アーティストバンクちば登録アーティスト ほか	入場者数1,200人	総事業費 1,075	総事業費 1,479	B	
4	基本施策1 (1) ①	基本施策3(1)①	鑑賞事業	市民会館ほか文化施設において、音楽、演劇等の様々な公演を定期的実施する。	(公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	【一般向け】 ①四季のプログラム1「フォレストコンサート」 日程：12月21日(水) 会場：市民会館大ホール 料金：S席5,500円、A席4,500円 入場者数 837人 ②四季のプログラム2「千葉市民会館 おひるま寄席」 日程：6月1日(木)、8月10日(木)、11月9日(木)、2月21日(水) 会場：市民会館小ホール 料金：一般2,500円 4回セット券8,000円 入場者数 1回目 78人 2回目 110人 3回目 229人 4回目 295人 合計 712人 ③文化センター連携プログラム「千葉市民創作ミュージカル」 日程：8月27日(日) 2回公演 会場：市民会館大ホール 料金：一般2,000円、小中学生1,000円 入場者数 1回目 587人 2回目 330人 合計 917人 【こども若者向け】 ④四月は君の嘘 クラシックコンサート 日程：5月13日(土) 会場：市民会館大ホール 料金：一般4,000円、高校生以下2,000円 入場者数 283人 ⑤よしもと初笑いライブin千葉 日程：1月27日(土) 会場：市民会館大ホール 料金：一般3,000円、高校生以下2,000円 入場者数 703人	①入場者数960人 ②入場者数1,040人 ③入場者数1,200人 ④入場者数950人 ⑤入場者数900人	【一般向け】 ①四季のプログラム1「フォレストコンサート」 日程：9月10日(月) 会場：市民会館大ホール 料金：5,500円 ②四季のプログラム2「千葉市民会館 おひるま寄席」 日程：5月15日(火)、8月28日(火)、11月27日(火)、2月20日(水) 会場：市民会館小ホール 料金：一般2,500円 4回セット券8,000円 日程：未定 会場：市民会館大ホール 料金：未定 ③文化センター連携プログラム 演目未定 日程：未定 会場：市民会館小ホール 料金：未定 ④親子向け鑑賞会 演目未定 日程：6月 会場：市民会館小ホール 料金：未定 ⑤お笑いライブ 日程：8月 会場：市民会館大ホール 料金：5,000円	①入場者数960人 ②入場者数1,040人 ③入場者数960人 ④入場者数260人 ⑤入場者数960人	総事業費 17,218	総事業費 13,414	B	
5	基本施策1 (1) ①		アウトリーチ事業	若葉区・美浜区を中心に小学校や高齢者施設にアーティストを派遣し、事業を実施することで、文化芸術に触れる機会の少ない市民に文化芸術の素晴らしさ、楽しさを伝える。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	①千葉市立都賀中学校 千葉市芸術文化新人賞受賞者の高市梓さん率いる弦楽四重奏「クルテット雅」による出張授業を実施。 日程：12月13日(火) 対象：中学1年生 動員：136人	若葉文化ホール担当1会場 動員 160人	①千葉市内中学校にて音楽を用いたアウトリーチ事業を実施 ②千葉市内小中学校(特殊支援学級)を対象としたワークショップ形式にアウトリーチ事業を実施	①動員130人 ②動員100人	総事業費 985	総事業費 1,950	B	

No.	最も特徴的な 施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成29年度 達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
6	基本施策1 (1) ①		小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業	美術館において、学校団体の利用を促すとともに、子どもたちに美術鑑賞の機会を提供するため、鑑賞プログラムを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	市内の小中学校を対象に、美術館の借り上げたバスで来館、学芸員やボランティアスタッフの鑑賞リーダーとともに鑑賞会を鑑賞 学校数:17校	年間20校程度	市内の小中学校を対象に、美術館の借り上げたバスで来館、学芸員やボランティアスタッフの鑑賞リーダーとともに鑑賞会を鑑賞	年間20校程度	総事業費 926	総事業費 1,188	B		
7	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策2(1)③	ちば市国際ふれあいフェスティバル	外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、国際交流・国際協力団体相互の連携を図る。また、世界の国々や異文化を肌で感じることで、国際交流・国際協力への興味・関心を高めてもらう。	その他 ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会	総務局 市長公室 国際交流課	開催日:2月11日(日) 会場:千葉市民会館 小ホール 内容: ①出展イベント 各団体の活動紹介、バザーなど ②ステージイベント 世界の民族楽器、民族舞踊など 来場者数:1,200人	事業の運営を通じ、国際交流、国際協力団体相互の連携を深める。 来場者数:1,200人	開催日:2月3日(日) 会場:千葉市民会館 小ホール 内容: ①出展イベント 各団体の活動紹介、バザーなど ②ステージイベント 世界の民族楽器、民族舞踊など	事業の運営を通じ、国際交流、国際協力団体相互の連携を深める。 来場者数:900人	総事業費 147	総事業費 252	B		
8	基本施策1 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	千葉の親子三代夏祭り	千葉市を美しくする会が、市民意識・ふるさと意識の高揚を図るために、市民総参加のもとまつりを実施する。	その他 千葉市を美しくする会	市民局 市民自治推進部 市民自治推進課	本祭り 日時:8月20日(日) 場所:中央公園、栄町通り、千葉銀座通り、旧バルコ前、千葉中央一番街、きぼーるアトリウム、千葉神社 内容:パレード、みこし・山車の渡御、よさこい囃子踊り、太鼓、千葉おどり 他 人出:本祭り33万人 参加団体数:172団体 参加者数:4,864人	参加団体数、参加者数の増 (平成28年度実績 参加団体数166団体 参加者数4,728人)	本祭り 日時:8月19日(日) 場所:中央公園、栄町通り、千葉銀座通り、旧バルコ前、千葉中央一番街、きぼーるアトリウム、千葉神社 内容:パレード、みこし・山車の渡御、よさこい囃子踊り、太鼓、千葉おどり 他 千葉常胤生誕900年記念事業:千葉氏ダンボール甲冑づくり教室開催 人出:本祭り33万人(見込み)	千葉常胤生誕900年記念事業実施による祭りの全体的な盛り上げ	総事業費 11,345	総事業費 13,306	B		
9	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③	ふれあいコンサート	障害のある人もない人も一緒に演奏を楽しむ、音楽の力で「心のバリア」を越えて、障害の理解や共感を得る場となることを願ってコンサートを開催する。	その他 NPOちば特別支援教育	保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課	開催日:11月12日(日) 会場:千葉県教育会館大ホール、きぼーる1Fアトリウム 内容:障害のある人などで音楽活動を行っている団体及び趣旨に賛同する個人・団体による楽器演奏・ダンス・歌唱等 入場者数:900名	入場者数の増加 (平成28年度入場者800名)	11月11日(日)に平成29年度と同様の内容で開催予定。会場は千葉県教育会館大ホール、きぼーる1Fアトリウムを予定。	入場者数の増加 (平成29年度入場者900名)	総事業費 0	総事業費 0	B		
10	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③	障害者作品展	障害者が自らの障害を乗り越え、完成した作品を公開展示することにより、広く社会に日々の活動を理解していただき、障害者には自己表現の場をとおして自信と希望を与え、自立と社会参加の促進に資することを目的に開催する。	その他 一般社団法人千葉市身体障害者連合会	保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課	開催日:9月27日(水)~29日(金) 会場:千葉市文化センター市民サロン 出品者数:172人 出品点数:228点 出品団体数:11団体 来館者数:310人	出品者数、出品点数、来館者数の増加 (平成28年度実績) 出品者数184人 出品点数251点 来館者数316人	平成29年度と同内容を予定。 開催予定日:10月3日(水)~10月5日(金) 会場:千葉市文化センター市民サロン	出品者数、出品点数、来館者数の増加 (平成29年度実績) 出品者数172人 出品点数228点 来館者数310人	総事業費 354	総事業費 350	B		
11	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策2(1)① 基本施策3(1)② 基本施策4(2)①	バラソルギャラリー	千葉駅前中央公園プロムナード(千葉駅前大通り)にバラソルを並べ「アトスペース」として、出展者のギャラリーやパフォーマンス空間として活用する。	実行委員会 バラソルギャラリー実行委員会	都市局 都市部 都心整備課	開催日:10月7日(土)・8日(日) 会場:中央公園プロムナード 内容:バラソルギャラリー 補助金に依存しない運営体制の確立をめざし、バラソルカフェにおける財源確保や運営体制の見直しを行う。 来場者数:9,241人(2日間)	来場者数:11,200人	開催日:10月6日(土)・7日(日) 会場:中央公園プロムナード 内容:バラソルギャラリー 補助金に依存しない運営体制の確立をめざし、バラソルカフェにおける財源確保や運営体制の見直しを行う。	来場者数:10,000人	総事業費 678	総事業費 550	C	天候不良による開催時間変更	
12	基本施策1 (1) ①		動物公園文化関連イベント	動物公園において、動物に関する理解を深めるため、動物が登場する絵本の読み聞かせや音楽会を開催する。ぬり絵等のワークショップの開催など、動物に関する文化イベントを実施する。	市 主催	都市局 公園緑地部 動物公園	開催日:毎週 土曜日 他 会場:動物科学館 内容:絵本の読み聞かせ 52回開催 ぬり絵 85回開催 各種クラフトづくり 104回開催 動物に関する講演 1回開催 総参加者数 11,494人	年間 9,000人	開催日:毎週 土曜日 他 会場:動物科学館 内容:絵本の読み聞かせ ぬり絵 動物に関する講演 など	年間 9,000人	総事業費 0	総事業費 0	A	動物公園ホームページやtwitter等による情報発信に努めた。	
13	基本施策1 (1) ①	基本施策5(1)①	中央区ふるさとまつり	中央区区民ふれあい事業の一環として、お年寄りから子どもまで、幅広い年齢層が参加でき、各種団体及び町内自治会の交流や連帯意識を醸成することを目的として、区民による手づくりのまつりを開催する。	実行委員会 中央区ふるさとまつり実行委員会	中央区 地域振興課	雨天での実施となったため、当初予定していた内容を変更しての実施となったが、メイン会場である中央公園でのステージイベントや模擬店の実施に加え、一部近接商店街とも連携し、中心市街地を活性化を図るためのイベントを実施した。 開催日:10月15日(日) 会場:中央公園及び周辺 内容:中央公園ステージイベント、模擬店 来場者数:18,000人	来場者数の確保 120,000人 (平成28年度 120,000人) (平成27年度 130,000人) (平成26年度 115,000人) (平成25年度 中止)	中央公園開催のふるさとまつりに加え、近接商店街とも連携し、中心市街地を活性化できるイベントを実施する。また、ホームタウンであるジェフユナイテッド市原・千葉や市教委との連携も引き続き行う。 開催日:10月21日(日) 会場:中央公園及び周辺 内容:中央公園ステージイベント、模擬店	来場者数の確保 120,000人 (平成29年度 18,000人) ※雨天での開催 (平成28年度 120,000人) (平成27年度 130,000人) (平成26年度 115,000人) (平成25年度 中止)	総事業費 4,280	総事業費 4,250	C	天候不良による実施内容の変更	

No.	最も特徴的な 施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成29年度 達成度	備考
					市の関わり									
14	基本施策1 (1) ①		花見川区民まつり	区民意識の醸成・高揚や多世代間の交流を図るため、花見川区内の各種団体の代表者等により花見川区民まつり実行委員会を組織し、区民手作りのまつりを開催する。	実行委員会 花見川区民まつり 実行委員会 補助金	花見川区 地域振興課	開催日:10月22日(日) 会場:さつきが丘中学校、朝日ヶ丘中学校、花見川中学校 ※メイン会場である花島公園での開催は、天候不良により中止 内容:家族バレーボール大会 参加人数:368人	入場者数の増加 54,500人 (平成28年度 53,500人)	開催日:10月28日(日) 会場:花島公園他 内容:文化的イベント、スポーツイベント、子どもイベント、フリーマーケット、ロードトレイン、模擬店、展示PRコーナー スタンプラリー、キャラクターとのふれあいを実施	入場者数の増加 54,500人 (平成28年度 53,500人)	総事業費 4,793	総事業費 5,118	-	天候不良により、予定していた内容の一部開催(家族バレーボール大会)
15	基本施策1 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	稲毛区民まつり	区民相互の協調と親睦、区民意識の醸成及び高揚を図り、地域の発展に寄与することを目的に、稲毛区内の各種団体による実行委員会と協力して「区民まつり」を開催する。	実行委員会 稲毛区民まつり 実行委員会 補助金	稲毛区 地域振興課	※雨天により開催中止(以下に記載の内容は、当初の開催予定) 開催日時:10月15日(日) 午前9時10分～午後3時 会場:穴川中央公園他 内容:文化的イベント、子供イベント、体験イベント、スポーツイベント等	来場者数の確保 50,000人	開催日時:10月21日(日) 午前9時10分～午後3時 会場:穴川中央公園他 内容:文化的イベント、子供イベント、体験イベント、スポーツイベント等	来場者数の確保 50,000人	総事業費 3,555	総事業費 4,495	-	雨天により、開催中止
16	基本施策1 (1) ①		若葉区民まつり	若葉区内各種団体の代表者により組織された実行委員会を中心に、区の特性を活かしたイベント(フリーマーケット、スポーツ大会、区民音頭の発表等)を区民一体となり実施する。	実行委員会 若葉区民まつり 実行委員会 補助金	若葉区 地域振興課	開催日:11月5日(日) 会場:東京情報大学 他 内容: ・舞台プログラム ・子ども広場 ・フリーマーケット・模擬店 ・公共団体等PR・産直市 ・バレーボール大会 ・ソフトボール大会 ・グラウンドゴルフ大会 来場者数:21,000人	来場者数 20,000人 (平成28年度 20,000人) (平成27年度 18,000人)	開催日:11月4日(日) 会場:東京情報大学 他 内容: ・舞台プログラム ・子ども広場 ・フリーマーケット・模擬店 ・公共団体等PR・産直市 ・バレーボール大会 ・ソフトボール大会 ・グラウンドゴルフ大会	来場者数 21,000人 (平成29年度 21,000人) (平成28年度 20,000人)	総事業費 3,808	総事業費 3,303	B	
17	基本施策1 (1) ①		緑区 ふるさとまつり	緑区内の各種団体の代表者で組織された実行委員会が、区民相互の協調と親睦、また、区民意識の醸成及び高揚を図ることを目的に、子どもからお年寄りまですべての人が気軽に参加できる手作りのイベントを開催する。	実行委員会 緑区ふるさとまつり 実行委員会 補助金	緑区 地域振興課	開催日:11月5日(日) 会場:昭和の森 内容:ステージ 模擬店 フリーマーケット 行政団体等PR 軽スポーツ及び伝承遊び等(参加費:一部有料) 来場者数:45,000人	来場者数の確保 41,000人	開催日:11月4日(日) 会場:昭和の森(太陽の広場) 内容:芸能ステージ 模擬店 フリーマーケット 行政団体等PR 軽スポーツ及び伝承遊び等(参加費:一部有料)	来場者数の確保 46,000人	総事業費 3,901	総事業費 3,965	B	
18	基本施策1 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	美浜区民フェスティバル	区民の区民意識の醸成を図り、区としての一体感をさらに高めるため、美浜区民フェスティバル実行委員会を組織し、幅広い年齢層の区民が参加可能な区民手作りの美浜区民フェスティバルを開催する。	実行委員会 美浜区民 フェスティバル 実行委員会 補助金	美浜区 地域振興課	日時:平成29年10月1日(日) 会場:稲毛海浜公園 内容: フェスティバルバンド、太鼓、神輿、踊り、ダンス、模擬店、フリーマーケット、レクリエーションスポーツ(普通遊び・バン喰い競争等)、呈茶席等 来場者数:68,500人	来場者数 60,000人	日時:平成30年10月7日(日) 会場:稲毛海浜公園 内容: フェスティバルバンド、太鼓、神輿、踊り、ダンス、模擬店、フリーマーケット、レクリエーションスポーツ(普通遊び・バン喰い競争等)、呈茶席等	来場者数 60,000人	総事業費 4,513	総事業費 4,580	B	
19	基本施策1 (1) ①		ランチタイム コンサート	稲毛区役所の市民ロビーを活用して、千葉市にゆかりのあるアーティストを招き、昼休み時間にコンサートを開催する。	市 主催	稲毛区 地域振興課	開催日時:年13回 開催場所:稲毛区役所1階市民ロビー 来場者数:1,606人	来場者数の確保 490人(70人×7回)	開催日時:年13回程度 開催場所:稲毛区役所1階市民ロビー	来場者数の確保 1,300人(100×13回)	総事業費 291	総事業費 318	A	市ホームページ掲載、チラシ配架、市政だより稲毛区版掲載、市内放送など多媒体でイベントの周知に努めた。
20	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策4(2)①	まちカフェライブ	緑区民で構成する実行委員会と協働で、区内の飲食店等を会場に演奏会を開催し、文化芸術を気軽に楽しんでもいながら、地域交流・活性化を推進する。	実行委員会 まちカフェライブ 実行委員会・アート タウンおゆみ野 主催 委託料	緑区 地域振興課	開催日:10月22日(日) 会場:①鎌取コミュニティセンター(メイン会場) ②区内の飲食店等数十か所を予定 内容: 地元の音楽愛好家等による演奏会を開催する。 ジャンルは、JAZZ、シャンソン、オペラ、ボサノバ、Pops、二胡など 来場者数:900人	来場者数の確保 1,000人	開催日:10月14日(日) 会場:①鎌取コミュニティセンター(メイン会場) ②区内の飲食店等数十か所を予定 内容: 地元の音楽愛好家等による演奏会を開催する。 ジャンルは、JAZZ、シャンソン、オペラ、ボサノバ、Pops、二胡など	来場者数の確保 1,100人	総事業費 508	総事業費 612	B	
21	基本施策1 (1) ①		消防音楽隊 コンサート	コンサートを通じて市民に消防広報を行うことを目的として実施する。	市 主催	消防局 総務部 総務課	年に6回、30分～120分程度のコンサートを実施 中央公園 2回(5月17日、12月1日) 参加人数:共に50人 京葉銀行文化プラザ 1回 3月17日(土) 参加人数:656人 生涯学習センター 3回 6月14日(水)、7月26日(水)、10月4日(水) 参加人数:6月14日292人、7月26日273人、10月4日251人 土気あすみが丘プラザ1回 12月13日440人	消防音楽隊と市民のふれあう機会をつくり、より多くの市民に音楽を通じたコミュニケーションで火災予防普及を図る。 中央公園では観客数50人、京葉銀行文化プラザでは観客数700人、生涯学習センターでは観客数各300人の集客を目標とする。	消防音楽隊と市民のふれあう機会をつくり、より多くの市民に音楽を通じたコミュニケーションで火災予防普及を図る。 千葉市民会館 3月16日 生涯学習センター 4回 6月30日、8月29日、10月3日、11月28日 開催地未定 1回 日付未定	千葉市民会館では観客数1000人、生涯学習センターでは観客数各300人の集客を目標とする。	総事業費 342	総事業費 393	B	
22	基本施策1 (1) ①		こころの劇場	市内のホールにて、小学生を対象にミュージカル鑑賞会を実施する。	その他 劇団四季 共催	教育委員会 事務局 学校教育部 教育指導課	実施日:5月11日(木)、12日(金) 4公演 会場:千葉県文化会館 来場者数:6,972人	来場者数:6,500人	実施日:5月17日(木)、18日(金)4公演 会場:千葉県文化会館	来場者数:6,500人	総事業費 4,779	総事業費 4,800	B	
23	基本施策1 (1) ②	基本施策1(2)① 基本施策2(1)① 基本施策3(1)②	メディア芸術 振興事業	個性豊かな新しい千葉文化の創造を図るため、将来の文化を担う子どもや若者を主な対象とし、映像メディアを中心としたメディア芸術に関する人材育成、普及啓発などの事業を実施する。	実行委員会 千葉市メディア芸術 振興事業実行委 員会 主催 負担金	市民局 生活文化課 文化振興課	実施日:平成29年11月25日、26日 会場:はまのわ(※旧高浜第二小学校) 対象:小学3年生～小学6年生 内容:全6科目の授業を1クラス25人で2回実施 日常生活に文化芸術の視点を取り入れていく試みとして、身近なテーマをメディア芸術という「ななめ」からのアプローチで取り上げた子ども向けのワークショップを実施した。 参加者:延べ286人	参加者60人	若者に関心の高いメディア芸術の振興を図るため、本市の様々な地域資源の魅力やメディア芸術の力で発掘するとともに、子供向けの体験イベントや若者を対象としたワークショップ等を実施することで将来の千葉文化を担う人材を育てる。 平成30年度も日常生活に文化芸術の視点を取り入れていく試みとして、身近なテーマをメディア芸術という「ななめ」からのアプローチで取り上げた子ども向けのワークショップを実施する。 開催日:11月頃 会場:はまのわ	参加者延べ300人	総事業費 2,421	総事業費 2,000	A	芸術文化新人賞受賞者等に講師を依頼し講座数および内容の充実を図り、若者に関心の高いワークショップの提供に努めた。

(2)参加・体験型活動の推進

No.	最も特徴的な 施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成29年度 達成度	備考
					市の関わり	指定管理者									
1	基本施策1 (2) ①		子ども創造体験 プログラム (導入編)	文化芸術に触れる機会として、幼稚園から小学生を対象に、コミュニティセンターなどにおいて、子どもの感性や創造性を育むための参加・体験型ワークショップを実施する。	(公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	①子どもミュージックプロムナード ・こみゆぶる 園児を対象に音楽の楽しさを体験する場を提供するため、全12回実施した。講師はアーティストバンク登録アーティストとし、1回公演とした。次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れ身近に体感できる場を提供した。 第1回 6月15日(木) ござくら幼稚園 BBモフラン 参加者244人 第2回 6月16日(金) あやめ台第二幼稚園 BBモフラン 参加者76人 第3回 7月5日(水) あやめ台幼稚園 アルプス音楽団 参加者205人 第4回 9月6日(水) ひまわり幼稚園 アルプス音楽団 参加者110人 第5回 9月11日(月) 愛隣幼稚園 BBモフラン 参加者85人 第6回 10月12日(木) 若松台幼稚園 アルプス音楽団 参加者259人 第7回 10月19日(木) 聖母マリア幼稚園 アルプス音楽団 参加者255人 第8回 11月 6日(月) 真砂白百合幼稚園 美炎トリオ 参加者128人 第9回 10月25日(水) 花園幼稚園 美炎トリオ 参加者108人 第10回 11月7日(火) 信徳寺あさひ幼稚園 美炎トリオ 参加者115人 第11回 11月10日(金) 鏡戸幼稚園 アルプス音楽団 参加者227人 第12回 12月 8日(金) 高浜幼稚園 アルプス音楽団 参加者136人 参加者 全12回 合計1,948人 ②子ども創造体験教室 次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れ身近に体感できる場として、参加体験型のワークショップを全6回実施した。 第1回・第2回 7月27日(木) Ototoでオリジナル楽器をつくろう 幕張CC 創作室 第3回・第4回 7月28日(金) 電気の通るねんどで光るモンスターをつくろう 穴川CC 創作室 第5回・第6回 8月 3日(木) お絵かきロボットをつくろう 千城台CC 創作室2 参加者数 第1回 19人 第2回 20人、第3回 17人、第4回 19人、第5回 18人、第6回 18人 参加者合計 111人	①参加者数1,200人 ②参加者数120人	①子どもミュージックプロムナード ・こみゆぶる 園児を対象に12回実施する。講師はアーティストバンクちば登録アーティストとし、1回で完結とする。音楽の楽しさを体験してもらう機会を提供する。 日程:6月~12月 全12回 会場:各幼稚園 ・「子ども創造体験教室」 ・「陶芸制作」 日程:7月7日(土)、7月8日(日)(各2回実施 計4回) 会場:男女共同参画センター 創作室 ・「絵画模写」(2回実施) 日程:7月28日(金)(2回実施) 会場:男女共同参画センター 創作室	①参加者数1,200人 ②参加者数120人	総事業費 2,786	総事業費 3,172	B		
2	基本施策1 (2) ①		はじめての劇場体験 ツアー	文化センターにおいて、子どもたちの劇場への興味を喚起するため、普段は入ることの出来ないホール施設を体験する親子向けツアーを実施することでホールを知るきっかけを創出する。	(公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	劇場内に隠されたヒントを見つけて謎を解く劇場体験型謎解きゲームを大学の謎解きサークルと協働で開発し、施設内をめぐる親子対象の参加型イベントとして実施した。 日程:8月24日(木)(1回実施) 会場:千葉市文化センター アートホール 参加組数:40人(20組) 参加費:1組2,000円	参加者数40人(20組)	謎解き形式等のゲーム感覚を盛り込みながら施設内をめぐる、親子対象の参加型イベントとして実施する。 日程:8月22日(水)(1回実施) 会場:千葉市文化センター アートホール 参加費:1組2,000円	参加者数40人(20組)	総事業費 309	総事業費 466	B		
3	基本施策1 (2) ①	基本施策2(1)①③	舞台芸術体験事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、市民参加者を対象に、次代の文化芸術を担う人材の発掘・育成を目的とした舞台芸術ワークショップを実施し、その成果を披露するための公演を実施する。	ちばアートウィンド運営企業体	市民局生活文化課-7部文化振興課	①会場:千葉市美浜文化ホール諸施設 日程:5月13日~7月1日 内容:演劇体験 参加人数:33人/ワークショップ回数:全28回/本公演2回 ②会場:若葉文化ホール諸施設 日程:4月~3月 内容:チアリーディング 参加人数35人/ワークショップ回数:全46回	①参加予定人数:20人 ワークショップ:全21回 本公演2回 ②参加予定人数:30人程度 ワークショップ:毎月4回程度	①会場:千葉市美浜文化ホール諸施設 日程:7月~8月 内容:ステージパフォーマンス体験 ②会場:若葉文化ホール諸施設 日程:4月~3月 内容:チアリーディング	①参加予定人数:20名程度 ワークショップ:全20回程度 ②参加予定人数:35名程度 ワークショップ:毎月4回程度	総事業費 7,882	総事業費 8,160	A	①事業においては、10周年記念事業であることを踏まえ、市民参加者の出演参加費を無料としたことにより想定を超える参加者を集める結果となった。	
4	基本施策1 (2) ①	基本施策5(2)②	こどもまつり	若葉・美浜の文化ホールにおいて、普段、文化芸術鑑賞の機会が少ない子どもたちと保護者に文化芸術と触れ合う機会やホールを知るきっかけを創出する。	ちばアートウィンド運営企業体	市民局生活文化課-7部文化振興課	①会場:千葉市美浜文化ホール諸施設 日程:7月25日(火)、26日(水) 内容:カブトムシ狩り体験、ワークショップ、フリーコンサート等 参加者数1331人 ②会場:千葉市若葉文化ホール諸施設 日程:1月13日(土) 内容:ワンコインコンサート、ワークショップ等 動員数308人	①参加予定人数:700人 ②参加予定人数:300人	①会場:千葉市美浜文化ホール諸施設 日程:7月25日(水)、26日(木) 内容:カブトムシ狩り体験、ワークショップ、フリーコンサート等 ②会場:千葉市若葉文化ホール諸施設 日程:3月3日(日) 内容:子供向けコンサート、ワークショップ等	①参加予定人数800人程度 ②参加予定人数300人程度	総事業費 5,476	総事業費 5,120	A	①②各事業とも告知協力として、近隣自治会協力の元、回覧板配布などを積極的に進め、結果、想定以上のご来場をいただいた。	
5	基本施策1 (2) ①	基本施策3(1)②	こども支援事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、幼少期から文化芸術に触れることで、文化芸術が身近に感じられるよう、子どもたちやその保護者を対象に、気軽に参加できる芸術公演・ワークショップ等を実施する。	ちばアートウィンド運営企業体	市民局生活文化課-7部文化振興課	①会場:千葉市美浜文化ホール音楽ホール 日程:7月1日(土) 内容:千葉市芸術文化新人賞受賞者を含む演奏家による朗読コンサート 動員数:300人 ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:1月13日(土) 内容:オーパキキャラマド合奏団コンサート 動員数386人	①参加予定人数:300人程度 ②参加予定人数:400人程度	①会場:千葉市美浜文化ホールメインホール 日程:8月10日(金) 内容:若手日本舞踊集団「藝〇座」創作舞踊公演「新作:桃太郎」 ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:3月2日(土) 内容:KIDS PERFORMANCE FESTIVAL	①参加予定人数:350人程度 ②参加予定人数:300人程度	総事業費 3,372	総事業費 3,980	B		
6	基本施策1 (2) ①		いきがいつくり事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、高齢者が元気になる、生きがいづくりやコミュニティ形成へとつながるよう、参加・鑑賞系事業を中心に実施する。	ちばアートウィンド運営企業体	市民局生活文化課-7部文化振興課	①会場:千葉市美浜文化ホール音楽ホール 日程:11月1日 内容:歌声コンサート 動員数:147人 ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:7月6日(金) 内容:たなばた演芸会 動員数283人	①参加予定人数:200名程度 ②参加予定人数:200名程度	①会場:千葉市美浜文化ホール音楽ホール 日程:調整中 内容:歌声コンサート ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:3月1日(金) 内容:小椋佳コンサート「歌紡ぎの会」	①参加予定人数:150人程度 ②参加予定人数:450人程度	総事業費 3,188	総事業費 6,226	B		
7	基本施策1 (2) ①		美術館講座 (市民美術講座)	美術館のコレクション等についての理解を深めるため、学芸員が中心となって、収集された美術品と美術史などとの関係を説明する講座を開催する。	(公財)千葉市教育振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	美術館館長他、学芸員による講座を実施 開催数:9回	年間10回開催	美術館館長他、学芸員による講座を実施 開催数:10回	年間10回開催	総事業費 0	総事業費 0	B		
8	基本施策1 (2) ①	基本施策2(3)②	ギャラリートーク	美術館の展覧会への理解を深めるため、学芸員や美術館のボランティアが、展覧会の会場で、展覧会の内容や展示作品に関する解説を行う。	(公財)千葉市教育振興財団	市民局生活文化課-7部文化振興課	各展覧会で実施 実施数:70回(学芸員:22回、ボランティア48回)	毎週水曜日14:00~ (年間60回程度)	各展覧会で実施	毎週水曜日14:00~ (年間60回程度)	総事業費 0	総事業費 0	B		

No.	最も特徴的な 施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成29年度 達成度	備考
					市の 関わり	指定管理者									
9	基本施策1 (2) ①		市民ギャラリー・いなげ なげ講習会 (ワークショップ)	市民ギャラリー・いなげにおいて、地域住民のニーズに応じた各種講座(スケッチ会、親子や家族で参加できる美術講座、専門家を講師に招いた写真や木工講座など)を実施する。	(公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	【春のスケッチ会】 開催日:4月29日(土) 参加人数:56名 講師に千葉市芸術文化新人賞受賞作家・佐藤央氏、NARAMIX氏を招き開催。参加者全員の作品を装飾し、当館ロビーに展示した。 【山口マオ版画ワークショップ】 開催日:6月3日(土) 参加人数:16名 講師に絵本作家・山口氏を招き開催。当館ロビーでは山口氏の絵本原画展も開催。 【夏休み子ども美術講座】 開催日:7月29日(土)、30日(日) 参加人数:41名 講師に市内小学校教諭の為我井直子氏、水野祥江氏を招き開催。 【白井綾写真講座「稲毛の建築を撮る」】 開催日:9月23日(土) 参加人数:9名 千葉市出身の写真家・白井綾氏を講師に招き開催。休館中の神谷邸で貸し切り撮影を実施。 【秋休み子ども美術講座】 開催日:10月7日(土)、8日(日) 参加人数:26名 地域の祭「夜灯」の夜に展示する灯ろうを制作。講師は当館の小山博所長。 【ほっこりキッチンクス作り】 開催日:10月14日(土)、28日(土) 参加人数:14名 千葉在住の漆芸作家・藤澤保子氏を講師に招き開催。 【色であそぼう〇〇どうぶつ】 開催日:10月21日(土) 参加人数:22名 稲毛出身のイラストレーター・NAMIKI氏を講師に招き開催。 【秋のスケッチ会】 開催日:11月4日(土) 参加人数:34名 講師に千葉市芸術文化新人賞受賞作家・佐藤央氏、イラストレーター・NAMIKI氏を招き開催。 【ギャラリー灯ろう作り】 開催日:11月11日(土) 参加人数:8名 講師:当館の小山博所長 【佐藤信太郎写真講座「夜景を撮る」】 開催日:11月25日(土) 参加人数:13名 稲毛在住・千葉市芸術文化新人賞受賞作家の佐藤信太郎氏を講師に招き開催。 参加人数計:239人	参加人数195名		【春のスケッチ会】 開催日:4月28日(土) 参加見込人数:20人 【山口マオ版画ワークショップ】 開催日:6月9日(土) 参加見込人数:15人 【夏休み子ども美術講座】 開催日:7月28日(土)、29日(日) 参加見込人数:20人 特記:30年度より講師は千葉ゆかりの美術家を招き、日頃経験できない専門的でユニークな造形活動を実施する。 【白井綾写真講座】 開催日:9月22日(土) 参加見込人数:15人 【秋休み子ども美術講座】 開催日:10月6日(土)、7日(日) 参加見込人数:20人 【色であそぼう〇〇どうぶつ】 開催日:10月27日(土) 参加見込人数:15人 【秋のスケッチ会】 開催日:11月3日(土) 参加見込人数:20人 【佐藤信太郎写真講座「夜景を撮る」】 開催日:11月24日(土) 参加見込人数:15人	参加人数 150人	総事業費 290	総事業費 300	B	
10	基本施策1 (2) ①		和装マナー親子教室	市民ギャラリー・いなげにおいて、和装・茶道・華道などを通して日本の伝統文化を学ぶ親子教室を開催する。	(公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	開催日:6月10日(土)、6月17日(土)、7月1日(土)、7月8日(土)、7月22日(土)、7月29日(土)、9月9日(土)、10月14日(土)、10月28日(土)、11月11日(土)、12月9日(土) 全11回 参加人数:60名	参加者40名		開催日:6月~12月 全10回予定 参加見込人数:25人	参加人数:25人	総事業費 55	総事業費 55	B	
11	基本施策1 (2) ①	基本施策2(1)③	男女共同参画センターまつり	千葉市男女共同参画週間の期間中に、男女共同参画に向けた活動をしている市民団体等及び一般の方々などの交流と活動発表の場として、参加・体験型のイベントを実施する。	(公財)千葉市文化振興財団ほか 共催	市民局 生活文化課-7部 男女共同参画課	開催日:12月9日(土)・10日(日) 会場:千葉市男女共同参画センター 内容:男女共同参画センターまつりを開催(男女共同参画センター主催企画及び市民企画) 来場者数:延べ2,229人 主催:千葉市男女共同参画センター、千葉市男女共同参画センターまつり実行委員会(千葉市共催)	来場者数の増加 (平成28年度 延べ2,180人)		開催予定日:12月8日(土)・9日(日) 会場:千葉市男女共同参画センター 内容:男女共同参画センターまつりを開催(男女共同参画センター主催企画及び市民企画) 来場者数:延べ3,000人(見込み) 主催:千葉市男女共同参画センター、千葉市男女共同参画センターまつり実行委員会(千葉市共催)	来場者数の増加 (平成29年度 延べ2,229人)	総事業費 1,031	総事業費 1,100	B	—
12	基本施策1 (2) ①		千葉市子ども交流館 文化関連イベント	子どもの健全な育成と交流を図るための拠点施設として、様々な講座やイベントを開催している子ども交流館において、文化芸術に関する講座等を実施する。	千葉ミライ子どもプロジェクト事業体	子ども未来局 子ども未来部 子ども企画課	【なかよし工房・オープン工房】 開催頻度:月4回 内容:不用品を利用したりリサイクル工作や造形レッスンなど、年齢に合わせたプログラムを提供した。[月4回] 対象:小学生・未就学児と保護者 【グリーンミュージックフェスティバル】 開催頻度:年2回(7月・12月) 内容:交流館の音楽スタジオを利用する中高生が主体となり、自主コンサートを開催した。[年2回(7月・12月)] 対象:中高生主体 【ヴォーカル・ギター・ドラムの各レッスン】 開催頻度:各月2回 内容:プロの専門講師による各種レッスンを行った。[各月2回] 対象:小中高生 【キッズ・アトリエ】 開催頻度:年3回 内容:地域に貢献するアーティストたちを講師に迎え、オリジナル性のある絵画・造形・デザインなど、子どもの個性を活かしたモノづくりを体験した。[年2回(2月・3月)] 対象:小中高生 【きぼーる・子どもミュージアム】 開催頻度:随時 内容:「つくる・あそぶ・つながる未来」をテーマとし、文化・芸術関係を含む様々な分野のファンリレーターが提案する遊びや学びのワークショップを体験した。[年2回(7月・3月)] 対象:一般 【子育てふれ愛フェスタ】 開催頻度:年1回 内容:親子のふれあいをテーマに、家族が一緒に参加できるワークショップや、演劇や音楽を主体にした参加型舞台芸術を体験した。[年1回(11月)] 対象:一般	【なかよし工房・オープン工房】 開催頻度:月4回 内容:不用品を利用したりリサイクル工作や造形レッスンなど、年齢に合わせたプログラムを提供する。 対象:小学生・未就学児と保護者 【グリーンミュージックフェスティバル】 開催頻度:年2回(7月・12月) 内容:交流館の音楽スタジオを利用する中高生が主体となり、自主コンサートを開催する。 対象:中高生主体 【ヴォーカル・ギター・ドラムの各レッスン】 開催頻度:各月2回 内容:プロの専門講師による各種レッスンを行う。 対象:小中高生 【キッズ・アトリエ】 開催頻度:年3回 内容:地域に貢献するアーティストたちを講師に迎え、オリジナル性のある絵画・造形・デザインなど、子どもの個性を活かしたモノづくりを体験する。 対象:小中高生 【きぼーる・子どもミュージアム】 開催頻度:随時 内容:「つくる・あそぶ・つながる未来」をテーマとし、文化・芸術関係を含む様々な分野のファンリレーターが提案する遊びや学びのワークショップを体験する。 対象:一般 【子育てふれ愛フェスタ】 開催頻度:年1回 内容:親子のふれあいをテーマに、家族が一緒に参加できるワークショップや、演劇や音楽を主体にした参加型舞台芸術を体験する。 対象:一般	【なかよし工房・オープン工房】 開催頻度:月4回 内容:不用品を利用したりリサイクル工作や造形レッスンなど、年齢に合わせたプログラムを提供する。 対象:小学生・未就学児と保護者 【グリーンミュージックフェスティバル】 開催頻度:年2回(7月・12月) 内容:交流館の音楽スタジオを利用する中高生が主体となり、自主コンサートを開催する。 対象:中高生主体 【ヴォーカル・ギター・ドラムの各レッスン】 開催頻度:各月2回 内容:プロの専門講師による各種レッスンを体験する。 対象:小中高生 【キッズ・アトリエ】 開催頻度:年2回 内容:「つくる・あそぶ・つながる未来」をテーマとし、文化・芸術関係を含む様々な分野のファンリレーターが提案する遊びや学びのワークショップを体験する。 対象:一般 【子育てふれ愛フェスタ】 開催頻度:年1回 内容:親子のふれあいをテーマに、家族が一緒に参加できるワークショップや、演劇や音楽を主体にした参加型舞台芸術を体験する。 対象:一般	総事業費 1,724	総事業費 2,200	B			
13	基本施策1 (2) ②		中学生の職場体験学習	美術館において、中学生を対象に、職場体験学習の一環として、美術館の仕事について理解してもらい、興味を喚起するため、館内施設の見学や作業体験を実施する。	(公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	美術館を職場体験の場として希望する中学生に対応。将来の美術館サポーターを育てる気持ちで、美術館の仕事の一部を体験させる。 参加者数:26校52人	随時 20校 40人程度		美術館を職場体験の場として希望する中学生に対応。将来の美術館サポーターを育てる気持ちで、美術館の仕事の一部を体験させる。	各学校からの希望を踏まえ、指定する期間 20校 40人程度	総事業費 0	総事業費 0	B	
14	基本施策1 (2) ②		高校生美術館体験プログラム	美術館において、高校生を対象に、作品鑑賞を充実させるとともに、美術館とその仕事についての理解を深めるプログラムを実施する。	(公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	美術館とその仕事についての理解を深め、美術館を積極的・主体的に活用し支える人材を育成する。 7月19日、11月29日、12月20日実施。参加者数:1校28人。講師:林勇気(映像作家)、魚住勇太(SJQ)、学芸員	年1回実施		美術館の役割や様々な取り組みについての理解を深め、また美術館における多様な表現を知ること、美術館を主体的に活用し、支える人材を育成するプログラムを実施する。	年1回	総事業費 50	総事業費 50	B	
15	基本施策1 (2) ②		未来への夢を育む 音楽芸術体験教室	伝統音楽や声楽、器楽合奏の鑑賞および体験活動を通して音楽文化への理解を深め、我が国や諸外国の芸術文化へのグローバルな視野を広げるとともに、子どもたちの情操を育てる。	市 千葉市邦楽邦舞協会他	教育委員会 事務局 学校教育部 教育指導課	市内中学校の体育館等に、邦楽、能楽、声楽、オーケストラの演奏家を招いて、体験教室と鑑賞会を実施する。中学生が、音楽芸術をより身近に感じ取れるように配慮し、大規模校については、学年単位で実施する。 オーケストラ:6校 邦楽:10校 能楽:4校 声楽:6校 計26校での開催を目指す。	オーケストラ:6校 邦楽:10校 能楽:4校 声楽:6校 計26校での開催を目指す。		市内中学校の体育館等に、邦楽、能楽、声楽、オーケストラの演奏家を招いて、体験教室と鑑賞会を実施する。中学生が、音楽芸術をより身近に感じ取れるように配慮し、大規模校については、学年単位で実施する。	オーケストラ:5校 邦楽:10校 能楽:4校 声楽:7校 計26校での開催を目指す。	総事業費 7,303	総事業費 7,303	B	
16	基本施策1 (2) ②		明るい選挙啓発 作品の募集	ポスター・標語・書き初めの選挙啓発作品を募集して、入賞作品を展示することにより、明るい選挙と投票率の向上を呼びかける。	市 明るい選挙推進協議会	選挙管理委員会 事務局	募集期間:5月~9月(ポスター・標語) 11月~1月(書き初め) 展示場所:各区役所等 8か所 展示期間:1か所あたり5日程度(合計51日)	展示場所:8か所 展示期間合計:50日		募集期間:5月頃~9月頃(ポスター・標語) 11月頃~1月頃(書き初め) 展示場所:各区役所等 展示期間:1か所あたり5日程度	展示場所:8か所 展示期間合計:50日	総事業費 117	総事業費 217	B	

基本施策2 文化を創造する人材を「育てる」

(1)文化芸術活動を楽しむ市民への支援

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
1	基本施策2 (1) ①		こども創造体験プログラム(実践編)	文化センターにおいて、子どもたちの豊かな創造力を養うため、小学生を対象に、子どもたちが力をあわせて創造的なモノ作りを行うワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局生活文化課一部文化振興課	参加者全員で一つの映像作品を制作し、作り手と演じ手をそれぞれ体験した。 日程:9月23日(土)・24日(日)、10月6日(金)・7日(土)(全4回) 会場:千葉市文化センター会議室、千葉市民ギャラリーいなが 対象:千葉市在住・在学の小学4年生~中学生 定員:12人 参加費:5,000円 参加者数12人	参加者数30人	マジックショーと参加体験型の科学実験を融合させた教室を小学校低学年、高学年の2コースで実施する。事業名をこども創造体験プログラムに変更する。 日程:8月 会場:千葉市文化センター 市民サロン 対象:千葉市在住・在学の小学生 定員:各コース40人 参加費:2,000円	参加者数80人	総事業費 136	総事業費 238	B	
2	基本施策2 (1) ②	基本施策2(1)③ 基本施策3(1)② 基本施策3(2)②	ちば・まちなかステージ	若手のアマチュアミュージシャンやストリートパフォーマーを発掘・支援するため、中心市街地などの市民で賑わうまちなかの会場を確保し、発表の機会を提供する。	その他 (公財)千葉市文化振興財団	共催 補助金	市民局生活文化課一部文化振興課	毎月1回第3日曜日を基本に、4月~12月まで9回、そごう千葉店正面前入口前広場で実施した。 会場:そごう千葉店正面前入口広場 日程:4月~12月(月1回実施 計9回) 出演:ストリートミュージシャンほか 4月23日、5月28日、6月25日、7月16日、8月26日、9月10日、10月15日、11月19日、12月17日 来場者合計 2,200人 出演団体9回合計 41組	出演団体数45組	若者ストリートライブとして、公募によるアマチュアバンドやストリートミュージシャン、パフォーマー等が出演する野外ライブを開催する。 日程:4月~12月(月1回実施 計9回) 会場:そごう千葉店正面前入口広場ほか 出演:ストリートミュージシャンほか	出演団体数45組	総事業費 532	総事業費 720	B	
3	基本施策2 (1) ②		ユースカルチャー支援事業	文化センターにおいて、若者の文化芸術活動を支援するため、高校生を対象としたライトノベルやイラスト等のワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局生活文化課一部文化振興課	ヘアメイク、衣裳をテーマに、第一線で活躍するクリエイターを講師に招いて、実践的なワークショップをヘア、メイク、衣裳の3コースを実施した。 【体験講座】 日程:7月8日(土)・17日(月・祝)・29日(土)・30日(日)・31日(月)、8月5日(土)(全6回) 会場:千葉市文化センター 会議室 ほか 対象:中高生 定員:各コース20人 受講料:6,000円 参加者数:ヘアコース7人、メイクコース4人、衣裳コース21人 計32人 【本番公演】 日程:8月6日(日) 会場:千葉市文化センター アートホール 料金:一般2,500円、高校生以下、500円 来場者:302人	受講者数60人	ヘアメイクや衣裳をテーマに、第一線で活躍するクリエイターを講師に招いて、実践的なワークショップを、今回はヘアメイクコース、衣裳コースの2コースで実施する。 【体験講座】 日程:7月~8月(各コース8回程度実施) 会場:千葉市文化センター 会議室 対象:中高生 定員:各コース30人 受講料:6,000円 【本番公演】 日程:8月 会場:千葉市文化センター アートホール 料金:一般2,500円、高校生以下、500円	受講者数60人 来場者430人	総事業費 3,918	総事業費 5,241	B	
4	基本施策2 (1) ②		舞台芸術創造ワークショップ	文化センターにおいて、若者の文化芸術活動を支援するため、ユースカルチャーをテーマに小学生から高校生までを対象とした舞台芸術のワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局生活文化課一部文化振興課	経験を問わず、小中高生を対象にHIOHOPダンスのワークショップを年代別に分けた2コースで実施した。 ※文化施設連携公演として市民会館で発表公演を実施する。 日程:7月20日(木)、8月1日(火)・2日(水)・4日(金)・7日(月)・9日(水)(全6回) 会場:千葉市文化センター 第2リハーサル室 定員:各コース30人 受講料:10,000円 参加者数:小学4~6年生コース20人、中学~高校生コース13人 計33人	受講者数60人	経験を問わず、小中高生を対象にHIOHOPダンスのワークショップを年代別に分けた2コースで実施する。 ※発表を舞台芸術創造ワークショップ公演として千葉市文化センターで実施する。 日程:8月~10月 会場:千葉市文化センター 第2リハーサル室 定員:各コース30人 受講料:10,000円	受講者数60人	総事業費 910	総事業費 1,030	B	
5	基本施策2 (1) ②		創作市民ミュージカル	文化センターにおいて、市民主体の活動を促進するため、市民有志によって結成された実行委員会が主体となって行う創作市民ミュージカルを支援する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局生活文化課一部文化振興課	千葉にちなんだ原作の応募17作品の中から選ばれた作品を元に制作された脚本によりワークショップを実施した。 ※文化センター連携公演として市民会館で発表公演を実施。 日程:4月1日(土)・9日(日)・15日(土)・23日(日)、5月13日(土)・20日(土)・21日(日)・28日(日)、6月3日(土)・11日(日)・17日(土)・25日(日)、7月2日(日)・8日(土)・9日(日)・15日(土)・17日(月)・23日(日)・29日(土)・30日(日)・31日(月)、8月5日(土)・11日(金)・12日(土)・13日(日)・19日(土)・22日(火)・23日(水)(全28回) 会場:千葉市文化センター スタジオ I ほか 定員:60人 受講料:30,000円 参加者数:54人	参加者数60人	平成31年度に開催を予定している創作市民ミュージカル本番公演に向けた準備作業を行う。 ・本番公演までの計画作成。 ・脚本・演出・作曲・振付等スタッフの決定。 ・千葉にちなんだ原作の公募及び脚本の作成。 ・平成31年度から始まるワークショップ参加者の募集開始。	準備作業の完了	総事業費 2,547	総事業費 290	B	
6	基本施策2 (1) ③	基本施策3(2)①	若葉芸能フェスティバル	若葉文化ホールにおいて、隣接する千城台コミュニティセンターで日頃よりサークル活動を行っている市民などに、発表の機会を提供する。	指定管理者	指定管理料	市民局生活文化課一部文化振興課 ちばアートウィンド運営企業体	会場:千葉市若葉文化ホール 日程:10月21日(土)、22日(日) 出演:千城台コミュニティセンター利用サークル・団体ほか 内容:合唱・ダンス・舞踊等 参加団体:24団体	参加団体:15組程度	会場:千葉市若葉文化ホール 日程:9月1日(土)、2日(日) 出演:千城台コミュニティセンター利用サークル・団体ほか 内容:合唱・ダンス・舞踊等	参加団体:15団体程度	総事業費 1,697	総事業費 1,315	A	これまで千城台コミュニティセンター利用サークル中心の参加がメインだったが、緑区、中央区等へ参加募集を広げたことにより、当初予定以上の団体に参加いただいた。
7	基本施策2 (1) ③	基本施策2(3)②	美浜文化ホール開館10周年記念事業「美浜芸術祭」	地域で活動する文化芸術団体や教育機関と連携し、10年で育まれてきた地域や市民とのつながり、地域への感謝を美浜文化ホール開館10周年記念事業「美浜芸術祭」として平成29年度に実施する。	指定管理者	指定管理料	市民局生活文化課一部文化振興課 ちばアートウィンド運営企業体	会場:千葉市美浜文化ホール(真砂中央公園) 日程:7月1日(土) 内容:7月1日開催される美浜文化ホール開館10周年記念事業に向けて実施、隣接する真砂中央公園を会場に、マルシェの実施、屋外ステージでの市民団体発表会などを開催。 動員数:3360人 実行委員会(当日のみの手伝いを含む市民ボランティア):24名	実行委員会参加者:20人	実施なし	-	総事業費 3,467	総事業費 -	A	ホール内での記念公演と同時開催したことにより、施設内イベントのみでは収まらないほど多くの市民に会館10周年を周知することが出来た。

(2) 芸術家の発掘と育成

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	主催									
1	基本施策2 (2) ①		芸術文化新人賞	千葉市にゆかりのある将来の活躍が期待される新進気鋭の芸術家を表彰する。	市	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		・受賞候補者の推薦を募集(6月1日～8月31日) ・選考委員会を2回開催 ・受賞者を発表 ・授賞式を実施 ・推薦件数23件	推薦件数の増加 (平成28年度 23件)	・受賞候補者の推薦を募集(6月1日～8月31日) ・選考委員会を2回開催 ・受賞者を発表 ・授賞式を実施	推薦件数の増加 (平成29年度 23件)	総事業費 925	総事業費 1,425	B	
2	基本施策2 (2) ②	基本施策1(2)① 基本施策3(1)② 基本施策5(2)①	新人賞サポートプログラム	芸術文化新人賞(新人賞・奨励賞)受賞者によるコンサートや展示会を開催し、活躍の場や飛躍の契機となる機会を提供する。	その他 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		千葉市芸術文化新人賞及び奨励賞受賞者を市民に周知するためのコンサートや展示会を実施した。 ・コンサートVol.1 望月美都 2月10日(土) きぼーるアトリウム(1Fきぼーる広場) 入場者120人 ・コンサートVol.2 日田圭介 2月27日(火) 幕張テクノガーデン 2Fアトリウム 入場者200人 ・展示会 和田的 3月13日(火)～18日(日) 市民ギャラリーいながい 入場者数474人 合計794人	延べ来場者数200人	千葉市芸術文化新人賞及び奨励賞受賞者を多くの市民に紹介し、文化を創造する人材を育成する。	延べ来場者数200人	総事業費 342	総事業費 775	A	開催にあたっては、オープンスペースでの実施など、事前広報の他に、当日でも立ち寄れる場所、時間などに配慮し、集客に努めた。
3	基本施策2 (2) ②	基本施策5(2)①	芸術文化新人賞受賞者による展覧会	ギャラリー・いながいにおいて、美術分野の芸術文化新人賞(新人賞・奨励賞)受賞者による展覧会を開催し、受賞者に発表の場を提供することで活躍の機会を創出を図る。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		ギャラリー・いながいの開館30年にあわせて、千葉県出身・在住の人気絵本作家、山口マオ氏の画業30周年を記念する展覧会を開催したため、芸術文化新人賞受賞者による展覧会は実施しなかった。 平成30年度の夏のグループ展において受賞者の作品展を予定。 【参考】※基本施策5(1)①「市民ギャラリーいながい展示」にて記載 山口マオ画業30周年記念展 会期:2月1日(木)～2月18日(日) 来場者:982名	—	【創造海岸いながい展】 開催日:8月14日(火)～26日(日) 来場見込人数:800人 特記:出品作家3名の内、1名の和田的氏は千葉市芸術文化新人賞受賞作家	来場者数:800人	総事業費 0	総事業費 266	-	実施なし

(3) 文化芸術活動を支える人材の育成

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理者									
1	基本施策2 (3) ①		音楽ファシリテーター養成講座	文化センターにおいて、アーティストを対象に、地域や学校などで音楽のワークショップをできるような実践的なスキルを学ぶ講座を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		千葉市にゆかりのある音楽系アーティスト等を対象に、実践的なファシリテーション講座を実施した。 周知する場としての「公開講座」(無料)と手法を学び実際にワークショップを創る基礎を学ぶ「養成講座」(有料)を実施した。 【公開講座】 日程:6月10日(土) 会場:千葉市文化センター スタジオ I 定員:30人 受講料:無料 参加者数33人 【養成講座】 日程:11月18日(土)・9日(日)・25日(土) 会場:千葉市文化センター スタジオ I ほか 定員:30人 受講料:4,000円 参加者数12人	受講者数各30人	千葉市にゆかりのある音楽系アーティストを対象に、実践的なファシリテーション講座を行う。 周知する場としての「公開講座」(無料)と手法を学び実際にワークショップを創る基礎を学ぶ「養成講座」(有料)を実施する。 日程:6月～11月 会場:千葉市文化センター スタジオ I 定員:各30人 受講料:公開講座/無料 養成講座/4,000円	受講者数各30人	総事業費 728	総事業費 831	B	
2	基本施策2 (3) ①		舞台セミナー	文化センターにおいて、音響・照明など舞台芸術の運営に必要な人材を育成するための、必要な知識やノウハウの講座を実施する。また、ホールに限らず野外公演等でも活躍できるようにフォローアップを行う。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		舞台・照明を相互に体験することで立場や役割の違いを理解し、チームワークの大切さを楽しみながら学ぶことで、自ら活動できるような人材を養成する。 日程:7月8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土)、8月5日(土)、6日(日) 会場:千葉市文化センター アートホール 受講者数:9人 受講料:5,000円	受講者数30人	中学生・高等学校部活動で役に立つ舞台技術のスキルアップを図る。また、各役割の違いを理解し、チームワークの大切さを楽しみながら学ぶことで、今後の部活動に生かせるような講座を提供する。 日程:1月～2月 会場:千葉市文化センター アートホール 受講料:1,000円	受講者数60人	総事業費 320	総事業費 696	C	広報宣伝に努めたが、結果的には参加者が定員に満たなかった。講座の内容等を検討したい。
3	基本施策2 (3) ①		アートマネジメント講座	文化センターにおいて、アートプロジェクトや公演などを企画・運営する担い手となるアートマネージャーを育成する講座を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		芸術文化に精通する講師を招き、市民を対象にアートマネジメント講座を実施する。芸術文化に関する講演のほか、先進取組事例を紹介することで、アートプロジェクトや公演などを企画・運営できるような担い手を増やすことを目的として、アートマネジメント公開講座(無料)と体系立てて学ぶ養成講座(有料)を実施した。 【公開講座】 日程:10月17日(火) 会場:千葉市文化センター セミナー室 定員:各80人 受講料:無料 参加者数38人 【養成講座】 日程:11月21日(火)・28日(火)、12月5日(火) 会場:千葉市文化センター セミナー室 定員:各80人 受講料:7,500円 参加者数8人	受講者数各80人	芸術文化に精通する講師を招き、市民を対象にアートマネジメント講座を実施する。芸術文化に関する講演のほか、先進取組事例を紹介することで、アートプロジェクトや公演などを企画・運営できるような担い手を増やす。 アートマネジメント公開講座(無料)と体系立てて学ぶ養成講座(有料)を実施する。 日程:10月 会場:千葉市文化センター 会議室 定員:各40人 受講料:公開講座/無料 養成講座/2,500円	受講者数各40人	総事業費 684	総事業費 512	C	広報宣伝に努めたが、結果的には参加者が定員に満たなかった。講座の構成・広報の方法を検討したい。
4	基本施策2 (3) ①		市民文化育成事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、千葉市の文化芸術活動を支える人材を育成するため、必要な知識やノウハウの講座を実施する。また、千葉市の文化や魅力を発信し、効果的な発信につながる講座を実施する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		①会場:千葉市美浜文化ホールメインホール 日程:8月1日(火)、2日(水)、2月21日(火) 内容:市民プロデューサー講座番外編「舞台スタッフ育成講座」 動員数:8月開催 134人 2月開催28人 計162人 ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:11月14日(火)、21日(火) 内容:第12回千葉市文化芸術新人賞受賞NARAMIXIによる「お面つくりワークショップ」と舞台表現を通じたコミュニケーションパフォーマンスの実施。 動員数:10名	①参加予定人数:40名 ②参加予定人数:10名	①会場:千葉市美浜文化ホールメインホール 日程:8月22日(水) 内容:東京オリンピック・パラリンピック競技の開催地として、歴代オリンピックアン・現役選手とともに、オリンピック競技の魅力や地域の皆様に伝える講座。 ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:1月～2月 内容:若葉区在住・在学の児童を中心に、すべての児童に分け隔てなく共通の文化体験の機会を創出する。	①参加予定人数:300人程度 ②参加予定人数:20人程度	総事業費 878	総事業費 2,685	A	これまで幅広い年代の市民を対象に、複数月にまたがって実施していた講座を、高校生(特に演劇部)にターゲットを絞り、短期型の集中講座としたことで、参加しやすい環境を整えた。
5	基本施策2 (3) ①		図工・美術担当者等教職員一日研修	千葉市教育研究会造形部会と協力して、美術等での美術館活用を促し、鑑賞教育への理解を深めるための研修を美術館で行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課		夏季休業期間に実施 8月23日実施 参加者数7人	年1回	夏季休業期間に実施	年1回	総事業費 0	総事業費 0	B	

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
6	基本施策2 (3) ①		教育委員会中学校造形部会との連携	鑑賞教育や授業での美術館活用について意見交換するほか、市内中学校美術部の合同鑑賞プログラムを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	指定管理料	市民局生活文化課一部文化振興課	美術部合同鑑賞会を実施。 7月24・25日 参加者数93人	年1回	夏季休業期間に美術部合同鑑賞会を実施	年1回	総事業費 0	総事業費 0	B	
7	基本施策2 (3) ②		ボランティア育成講座	文化センターにおいて、施設内の文化芸術事業をサポートする文化ボランティアを育成する講座を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局生活文化課一部文化振興課	これからボランティアを始めたいと考えている、さらには活動のスキルアップをしたい市民向けに接遇の心得、イベント災害時の図上訓練など、サービス研修等の講座を実施した。 日程:【講座】6月1日(木) 【実践研修】8月10日(木)・11日(金)・27日(日)、9月23日(土)・29日(金)・30日(土)(選択式) 会場:千葉市文化センター 会議室ほか 定員:20人 受講料:無料 参加者数15人	受講者数20人	これからボランティアを始めたいと考えている、さらには活動のスキルアップをしたい市民向けに接遇の心得、障がいのある方をホールで誘導する際の注意点を学ぶなど、サービス研修等の講座を実施する。 日程:9月～3月 5回程度(講座、実践) 会場:千葉市文化センター アートホールほか 定員:20人 受講料:無料	受講者数20人	総事業費 79	総事業費 174	B	
8	基本施策2 (3) ②		若葉・美浜文化ホールボランティア育成事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、施設の文化芸術事業をサポートし、ホール運営の補助を務める文化ボランティアを育成し、文化芸術を支える裾野の拡大を図る。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	指定管理料	市民局生活文化課一部文化振興課	会場:美浜文化ホール・若葉文化ホール 内容:ボランティアスタッフ育成 参加人数: 7月1日「美浜芸術祭」(美浜)21人 7月8日たなばた演芸会(若葉)7人 10月21日.22日若葉芸術フェスティバル(若葉)3人 計31人	実施時期:美浜文化ホール閉館10周年記念事業実行委員会として稼働 その他、自主事業・共催事業時に適宜実施	会場:美浜文化ホール・若葉文化ホール 日程:適宜実施 内容:ボランティアスタッフ育成	実施時期:美浜文化ホール閉館10周年記念事業実行委員会として稼働 その他、自主事業・共催事業時に適宜実施	総事業費 794	総事業費 0	B	
9	基本施策2 (3) ②		美術館ボランティア	美術館において、美術館事業をわかりやすく案内できる美術館ボランティアとして必要となる知識・技術を習得するため、研修を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	指定管理料	市民局生活文化課一部文化振興課	鑑賞リーダー学習会8回、現代美術学習会9回、第5期ボランティア研修を実施。 参加者数16人	通年	研修・勉強会を実施。 平成30年度より加入の5期スタッフに対しては、特に現場での経験を積み、スキルアップできる機会を用意する、	通年	総事業費 0	総事業費 30	B	
10	基本施策2 (3) ②		市民活動支援センター	市民のボランティア活動やNPO活動などを支援する施設として、活動に必要な情報を提供しているほか、各団体のイベント情報や参加募集案内などを紹介する。	市	指定管理料	市民局市民自治推進部市民自治推進課	(1)ボランティア情報の提供:情報掲示数710件 (2)ボランティアに関する相談:相談件数249件 (3)会議室の提供 (4)イベント・講座等の開催	(1)ボランティア情報の提供 ボランティア情報掲示数の増加 (平成28年度797件) (2)ボランティアに関する相談 相談件数:前年比増 (平成28年度202件)	(1)ボランティア情報の提供 (2)ボランティアに関する相談 (3)会議室の提供 (4)イベント・講座等の開催	(1)ボランティア情報の提供 ボランティア情報掲示数の増加 (平成29年度710件) (2)ボランティアに関する相談 相談件数の増加 (平成29年度249件)	総事業費 9,373	総事業費 9,489	B	
11	基本施策2 (3) ②	基本施策4(2)①	ことぶき大学校運営事業	高齢者自ら知識・技能を習得し、仲間づくり地域活動への積極的な参加を通じて、豊かで充実した生活が送れるように学習と活動の場を提供する。 また、卒業後に習得した知識や技能を活用し、本市事業や地域活動に積極的に参加する地域活動リーダーやボランティア活動などを行う人材を育成する。	指定管理者 (社福)千葉市社会福祉事業団	指定管理料	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課	【ボランティア実践コース】 【福祉健康学科】 地域活動リーダー養成講座、介護の理論と実習、地域活動実習など 【園芸学科】 果菜・葉根菜の作型と品種、野菜生産学習、花の栽培、花壇づくりなど 【創造活動コース】 【美術学科】 日本・西洋美術史、デッサンの基礎理論と実習、油彩画の基礎理論と実習など 【陶芸学科】 作陶の基礎理論と実習・素地土の歴史、成形の技法など 授業日数:年間28日 学生数:福祉健康学科86人(3クラス)、園芸学科60人(2クラス) 美術学科27人(1クラス)、陶芸学科:24人(1クラス) 【多世代交流講座】 内容:学生と小学生との世代間交流を目的とした講座を実施する。 開催日:陶芸教室 7月20日、21日、8月17日 各日2時間30分 園芸教室 10月22日 2コース 各コース2時間20分 会場:陶芸教室 ことぶき大学校教室 園芸教室 富田都市農業交流センター 参加者数:陶芸教室 小学生17人 ことぶき学生24人 園芸教室 小学生33人 ことぶき学生48人	【ボランティア実践コース】 【福祉健康学科】 地域活動リーダー養成講座、介護の理論と実習、地域活動実習など 【園芸学科】 果菜・葉根菜の作型と品種、野菜生産学習、花の栽培、花壇づくりなど 【創造活動コース】 【美術学科】 日本・西洋美術史、デッサンの基礎理論と実習、油彩画の基礎理論と実習など 【陶芸学科】 作陶の基礎理論と実習・素地土の歴史、成形の技法など 授業日数:年間28日 学生数:福祉健康学科90人(3クラス)、園芸学科60人(2クラス) 美術学科30人(1クラス)、陶芸学科:30人(1クラス) 【多世代交流講座】 【参加者数】 陶芸教室 小学生18人、学生18人 園芸教室 小学生50人、学生50人	【ボランティア実践コース】 【福祉健康学科】 地域活動リーダー養成講座、介護の理論と実習、地域活動実習など 【園芸学科】 果菜・葉根菜の作型と品種、野菜生産学習、花の栽培、花壇づくりなど 【創造活動コース】 【美術学科】 日本・西洋美術史、デッサンの基礎理論と実習、油彩画の基礎理論と実習など 【陶芸学科】 作陶の基礎理論と実習・素地土の歴史、成形の技法など 授業日数:年間28日 定員:福祉健康学科90人(3クラス)、園芸学科60人(2クラス) 美術学科30人(1クラス)、陶芸学科:30人(1クラス) 【多世代交流講座】 【参加者数】 陶芸教室 小学生18人、学生18人 園芸教室 小学生50人、学生50人	総事業費 15,891	総事業費 16,414	B		
12	基本施策2 (3) ②		ちば生涯学習ボランティアセンター	市内で活躍する、様々な分野の知識や技能を有し、ボランティアとして活躍する意欲をもった市民や団体の情報を収集し、主に市内の公共施設等で学習活動を行っている団体等とのコーディネートを行い、市民の生涯学習活動及びボランティア活動の支援を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	指定管理料	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課	・登録者の受付・コーディネート ・情報紙「ボランティア・タイム」を発行(7月、11月、3月) ・ボランティアセンター活動促進事業として、講座「春からはじめる!ボランティア 千葉市のボランティア関連施設活用術」を実施 ・ボランティアセンター登録者の紹介として、ボランティアフェア2017を実施 ・各種研修事業(生涯学習指導者基礎研修等)で登録ボランティアに活動発表の機会を提供 ・ボランティアセンターの登録者名簿を市内公共施設へ配布の他、町内自治会向けチラシを作成し、名簿と共に配布。 ・ボランティアセンターの登録者名簿作成(3月更新) ・ボランティア登録者スキルアップ研修実施 ・ボランティア活動機会の提供 登録者数:1,697人、利用件数:221件	多くのボランティアに活動機会を提供する。 ・登録者数:1,700人 ・利用件数:230件	・登録者の受付・コーディネート ・情報紙「ボランティア・タイム」を発行(7月、11月、3月) ・ボランティアセンター活動促進事業として、講座「春からはじめる!ボランティア 千葉市のボランティア関連施設活用術」を実施 ・ボランティアセンター登録者の紹介として、ボランティアフェア2018を実施 ・各種研修事業(生涯学習指導者基礎研修等)で登録ボランティアに活動発表の機会を提供 ・ボランティアセンターの登録者名簿を市内公共施設へ配布の他、町内自治会向けチラシを作成し、名簿と共に配布。 ・ボランティアセンターの登録者名簿作成(3月更新) ・ボランティア登録者スキルアップ研修実施 ・ボランティア登録者スキルアップ研修実施	多くのボランティアに活動機会を提供する。 ・登録者数:1,700人 ・利用件数:240件	総事業費 0	総事業費 0	B	
13	基本施策2 (3) ②		施設ボランティア養成研修	施設ボランティアとして活動するにあたって必要となる知識・技術を習得するため、研修を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	指定管理料	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課	(基礎研修)生涯学習、社会教育に関する基礎的知識習得やボランティア活動の意義・役割等の理解を深めるなど、今後のボランティア活動の基盤をつくる。 (専門研修)活動するにあたって必要とされる専門的知識、技術を習得するとともに、具体的な活動にむけた実践的能力を養う。 ※基礎講座、専門講座ともに修了した者は、生涯学習センター施設ボランティア(まなびサポーター)の登録対象者となる。 千葉市立郷土博物館・千葉市立加曾利貝塚博物館・千葉市美術館・千葉市生涯学習センターの施設ボランティアを志望する市民を対象とし、合同で基礎講座を実施する。 日程:6月22日～7月18日 場所:生涯学習センター 参加人数:郷土博物館4人、加曾利貝塚博物館6人、美術館20人、生涯学習センター3人 修了者率:97%	修了者率95%以上 ※規定の時間数を受講する等により修了証を発行された者	(基礎研修)生涯学習、社会教育に関する基礎的知識習得やボランティア活動の意義・役割等の理解を深めるなど、今後のボランティア活動の基盤をつくる。 (専門研修)活動するにあたって必要とされる専門的知識、技術を習得するとともに、具体的な活動にむけた実践的能力を養う。 ※基礎講座、専門講座ともに修了した者は、生涯学習センター施設ボランティア(まなびサポーター)の登録対象者となる。 千葉市立郷土博物館・千葉市立加曾利貝塚博物館・千葉市美術館・千葉市生涯学習センターの施設ボランティアを志望する市民を対象とし、合同で基礎講座を実施する。 日程:6月27日～7月24日 場所:生涯学習センター 募集人数:郷土博物館10人、加曾利貝塚博物館10人、生涯学習センター10人 ※美術館は募集なし	修了者率95%以上 ※規定の時間数を受講する等により修了証を発行された者	総事業費 190	総事業費 201	B	

基本施策3 文化芸術を育む場を「支える」

(1)文化芸術活動の場の充実

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理者									
1	基本施策3 (1) ①		文化施設の効果的な運営	市内文化施設において、各施設の利用向上につながる割引の設定や多言語化などを図る。	(公財)千葉市文化振興財団ほか	指定管理者	市民局生活文化課一部文化振興課	<p>【千葉市文化振興財団】</p> <p>①施設利用者数(※) 市民会館 363,607人 ②使用件数(※) 市民会館 3,843件、文化センター3,429件 ③施設稼働率(※) 市民会館53.25%、文化センター38.83% ④ホール稼働率(平日) 市民会館60.0%、文化センター45.72% ⑤ホール稼働率(土日祝) 市民会館80.81%、文化センター75.71% ⑥美芸芸術公演本数 市民会館 35本 ⑦文化振興の拠点施設としての件数(※) 文化センター934件 ⑧予防的修繕未実施による施設利用不可能日数 市民会館0日(※)…楽屋を除く</p> <p>【美浜・若葉文化ホール】</p> <p>①施設稼働率 若葉文化ホール 33.14% 美浜文化ホール 56.44% ②ホール稼働率(平日) 若葉文化ホール 28.73% 美浜文化ホール メインホール 47.50% 音楽ホール 62.37% ③ホール稼働率(土日祝) 若葉文化ホール 70.24% 美浜文化ホール メインホール 87.72% 音楽ホール 92.40% ④割引利用件数 若葉文化ホール 191件 美浜文化ホール 374件 (リハーサル割引、控室割引、舞台練習割引、セット割引、学校割引30、50、 夜間追加割引、リハーサル室直前割引、スタジオ割引(期間限定))稼働向上の為、新たな割引サービス(リハーサル室直前割引)を開始した。 開始後、若葉文化ホールのリハーサル室稼働が大きく向上した。 ※施設稼働率には楽屋は含まない</p> <p>【千葉市美術館】</p> <p>○友の会入会の促進→運営目的:市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため。H28年度より入会金制度の廃止と、新たな賛助会員(個人・法人)の設定を行った。 ○施設稼働率→稼働率向上のため、これまで利用の少なかった夜間区分と全日利用に対して新たな割引料金の設定を行った。 ①友の会会員数→会員数1,472人、賛助会員数5件②施設稼働率→施設全体での稼働率40%</p> <p>【京葉銀行文化プラザ】</p> <p>練習利用割引、学生割引、付帯控室セット割引、割引15プラン ①利用者数 音楽ホール83,313人 会議室69,483人 リハーサル室12,811人②稼働率 音楽ホール48.3% 会議室29.5% リハーサル室58.4%</p> <p>【千葉市民ギャラリー-いなげ】</p> <p>①展示室・制作室稼働58.15% ②展示室・制作室利用者数37813人</p>	<p>【千葉市文化振興財団】</p> <p>①施設利用者数(※) 市民会館 355,000人 ②使用件数(※) 市民会館 4,400件、文化センター4,100件 ③施設稼働率(※) 市民会館 59%、文化センター45% ④ホール稼働率(平日) 市民会館60%、文化センター44% ⑤ホール稼働率(土日祝) 市民会館78%、文化センター76% ⑥美芸芸術公演本数 市民会館 24本 ⑦文化振興の拠点施設としての件数(※) 文化センター最終年度10%増 ⑧予防的修繕未実施による施設利用不可能日数 市民会館0日(※)…楽屋を除く</p> <p>【美浜・若葉文化ホール】</p> <p>リハーサル割引、控室割引、舞台練習割引、セット割引、学校割引30、50、 夜間追加割引、リハーサル室直前割引(若葉のみ)、スタジオ割引(美浜のみ)(期間限定)</p> <p>【千葉市美術館】</p> <p>○友の会入会の促進→運営目的:市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため、特に賛助会員(個人・法人)の入会促進を図る。 ○施設稼働率→稼働率向上のため、夜間区分と全日利用の割引料金の設定。</p> <p>【京葉銀行文化プラザ】</p> <p>施設廃止のためなし</p> <p>【千葉市民ギャラリー-いなげ】</p> <p>新規利用者を増やすため、様々な使用例を記載したチラシを新たに作成、配布する。</p>	<p>【千葉市文化振興財団】</p> <p>①施設利用者数(※) 市民会館 355,000人 ②使用件数(※) 市民会館 4,400件、文化センター4,100件 ③施設稼働率(※) 市民会館 59%、文化センター45% ④ホール稼働率(平日) 市民会館60%、文化センター44% ⑤ホール稼働率(土日祝) 市民会館78%、文化センター76% ⑥美芸芸術公演本数 市民会館 24本 ⑦文化振興の拠点施設としての件数(※) 文化センター最終年度10%増 ⑧予防的修繕未実施による施設利用不可能日数 市民会館0日(※)…楽屋を除く</p> <p>【美浜・若葉文化ホール】</p> <p>リハーサル割引、控室割引、舞台練習割引、セット割引、学校割引30、50、 夜間追加割引、リハーサル室直前割引(若葉のみ)、スタジオ割引(美浜のみ)(期間限定)</p> <p>【千葉市美術館】</p> <p>○友の会入会の促進→運営目的:市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため、特に賛助会員(個人・法人)の入会促進を図る。 ○施設稼働率→稼働率向上のため、夜間区分と全日利用の割引料金の設定。</p> <p>【京葉銀行文化プラザ】</p> <p>施設廃止のためなし</p> <p>【千葉市民ギャラリー-いなげ】</p> <p>新規利用者を増やすため、様々な使用例を記載したチラシを新たに作成、配布する。</p>	0	0	B		
2	基本施策3 (1) ①		文化施設連携公演	各施設の特徴を有効に活用するため、文化センターでワークショップを行い、市民会館で公演を実施するなど施設間の連携を図る。	(公財)千葉市文化振興財団	指定管理者	市民局生活文化課一部文化振興課	<p>舞台芸術創造ワークショップ公演として、文化センターで実施する舞台芸術創造ワークショップの発表公演とプロによる公演を一体の企画として開催した。 日程:8月11日(金・祝) 会場:市民会館大ホール 料金:一般3,000円、高校生以下2,000円 入場者数:296人</p>	入場者数880人	<p>舞台芸術創造ワークショップ公演として、文化センターで実施する舞台芸術創造ワークショップの発表公演とプロによる公演を一体の企画として開催する。事業名を舞台芸術創造ワークショップ公演に変更し千葉市文化センターアートホールで実施する。 日程:10月 会場:千葉市文化センターアートホール 料金:一般3,000円、大学生以下2,000円</p>	入場者数430人	2,209	2,248	C	小学生から高校生を対象にワークショップを経て、その成果発表をプロ公演と一体で行ったが、発表公演の側面もあり、入場者がふるわなかった。今後は、実績を積み、公演の実態に見合う施設を会場に実施する。
3	基本施策3 (1) ①	基本施策5(1)①	美術品の収集	美術館の展示を充実させるため、美術品収集の基本方針(①郷土作家の作品を中心とした房総ゆかりの作家・作品、②日本の文化の核を形成する近世以降の美術品、③現代美術)に沿った作品を美術館所蔵作品として収集する。	市	主催	市民局生活文化課一部文化振興課	<p>1.房総ゆかりの作品、2.近世から近代の日本画版画、3.現代美術という収集基本方針に沿って、美術館の所蔵品として良質な美術品の収集をおこなう。なお美術品の収集にあたっては、外部の学識者で組織される千葉市美術品等収集審査会において審査を受ける。 情報収集に努め良質な美術品を収集できるように調査、交渉する。</p> <p>購入作品:3件 評価額計:4,600,000円 寄贈作品:40件 評価額計:7,500,000円 寄託作品:218件 評価額計:1,364,750,000円</p>	美術館の収蔵作品に相応しい良質な美術品を収集する。	<p>1.房総ゆかりの作品、2.近世から近代の日本画版画、3.現代美術という収集基本方針に沿って、美術館の所蔵品として良質な美術品の収集をおこなう。なお美術品の収集にあたっては、外部の学識者で組織される千葉市美術品等収集審査会において審査を受ける。 情報収集に努め良質な美術品を収集できるように調査、交渉する。</p>	美術館の収蔵作品に相応しい良質な美術品を収集する。	225	211	A	前年度と比較して寄贈・寄託により良質な美術品を多数収集することができた。
4	基本施策3 (1) ①		他美術館との連携	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、都内等の美術館との連携により、多言語化対応、Wifi対応及び共通パスポートについて検討する。	(公財)千葉市教育振興財団	指定管理者	市民局生活文化課一部文化振興課	<p>東京都主催の【一都三県の連携した取組】実務担当者会議への参加 3月19日出席 議題: 1 周遊性の向上について(1)ぐるっとパスの拡充 2 美術館・博物館の機能向上・利便性向上について(1)インバウンド対応(2)多言語対応(3)バリアフリー(4)夜間開館 3 (参考)日本博物館協会研究協議会内容(1)危機管理(2)文化財の保存と活用 4 意見交換</p>	通年	東京都主催の【一都三県の連携した取組】実務担当者会議への参加	通年	0	0	B	
5	基本施策3 (1) ①	基本施策1(1)①	ミュージアムトライアングル連携事業	美術館、科学館の2つのミュージアムが連携しネットワークを強化することで、文化に触れやすく楽しめる環境づくりを推進する。	コングレ・東急コミュニティ共同事業体	指定管理者	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課	<p>①美術館、科学館の2館の入館チケット持参者に対して、相互割引を実施。 平成29年度実績:50人 ②美術館と科学館が連携した事業を実施。 名称:「美術館で緑日気分!!」 日程:8月20日(日) 会場:さや堂ホール</p>	相互割引利用者100人	<p>美術館、科学館の2つのミュージアムが連携しネットワークを強化することで、文化に触れやすく楽しめる環境づくりを推進する。そのために、積極的に相互割引の実施をPRしていく。</p>	相互割引利用者100人	0	0	C	PR方法の種類が少なかったことが考えられる

(2) 活動しやすい環境の整備

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	市									
1	基本施策3 (2) ①	基本施策2(1)② 基本施策2(1)③	芸術文化振興事業補助金	芸術文化団体が実施する市民参加や人材育成が期待できる芸術文化事業に対し、補助金を交付する。	市 主催	市民局生活文化課-7部文化振興課	市民局生活文化課-7部文化振興課	下記事業に対する補助金を交付する。 ①市民参加事業 事業に関わる団体(主催者・共催者)の構成員や会員以外の市民の事業参加が見込まれる事業(補助上限20万円):8事業 ②市民育成事業 芸術文化活動をする人材を、2~3年間の複数年度で継続的・段階的に育成・支援する事業(補助上限30万円):1事業 ③市民参加特別事業 内容、規模等において通例を凌ぐ大規模事業で、幅広い市民の事業参加と、多くの集客が見込まれる事業(補助上限150万円):1事業 出演者数見込み2,462人 観客動員数見込み8,910人	出演者数見込み2,462人 観客動員数見込み8,910人	下記事業に対する補助金を交付する。 ①市民参加事業 事業に関わる団体(主催者・共催者)の構成員や会員以外の市民の事業参加が見込まれる事業(補助上限20万円):5事業 ②市民育成事業 芸術文化活動をする人材を、2~3年間の複数年度で継続的・段階的に育成・支援する事業(補助上限30万円):1事業 ③市民参加特別事業 内容、規模等において通例を凌ぐ大規模事業で、幅広い市民の事業参加と、多くの集客が見込まれる事業(補助上限150万円):1事業	出演者見込み数3,912人 観客動員見込み数8,512人	総事業費 2,799	総事業費 2,850	B	
2	基本施策3 (2) ①	アーツステーションちば 【文化団体サポート】		市民主体による文化芸術活動の活性化を図るため、市内文化芸術団体の活動を支援する。	指定管理者 指定管理料	(公財)千葉市文化振興財団 市民局生活文化課-7部文化振興課	(公財)千葉市文化振興財団 市民局生活文化課-7部文化振興課	①新規団体助成 新規の利用団体が練習のためにホールを使用する場合の会場使用料の一部を助成し、将来のホール公演開催の後押しを目的として実施した。 日程:7月30日(日)、8月1日(火)・2日(水) 会場:千葉市文化センター アートホール 定員:3団体 参加費:1団体20,000円 参加団体:3団体 ②団体事務局の運営 千葉市文化連盟など団体事務局の運営をおこなう。	新規団体助成2団体	①団体助成 利用団体が練習のためにホールを使用する場合の会場使用料の一部を助成し、将来のホール公演開催の後押しをする。 日程:7月~8月 9:00~17:00 会場:千葉市文化センター アートホール 定員:3団体 参加費:1団体20,000円 ②団体事務局の運営 千葉市文化連盟など団体事務局の運営をおこなう。	3団体	総事業費 225	総事業費 352	B	
3	基本施策3 (2) ②	基本施策1(1)② 基本施策1(2)① 基本施策2(2)② 基本施策2(3)①	スタートアップチャレンジ事業	文化センターにおいて、市民等から幅広く企画を公募し、事業を実施することで、文化芸術事業の企画運営を経験してもらう。	指定管理者 指定管理料	(公財)千葉市文化振興財団 市民局生活文化課-7部文化振興課	(公財)千葉市文化振興財団 市民局生活文化課-7部文化振興課	市民から企画アイデアを公募し、アーツステーション登録の人材(アーティスト・ボランティアなど)の活用など、サポートしながら企画を実現することで、実践的な経験をってもらうことを目的に実施した。 ①企画募集 募集期間:7月1日(土)~8月23日(水) プレゼン:9月17日(日) 応募条件:未発表の子どもを主な対象としたワークショップ・公演の企画 募集企画数:2企画 料金:無料 応募数:5企画 ②公演 日程:2月13日(土)、2月17日(土) 会場:千葉市文化センター スタジオ I 入場料:2月13日(土)1,000円、2月17日(土)無料 来場者:2月13日(土)21人、2月17日(土)38人	①応募企画数5企画 ②参加者数30人	市民から企画アイデアを公募し、アーツステーション登録の人材(アーティスト・ボランティアなど)の活用など、サポートしながら企画を実現することで、実践的な経験をってもらう。	①応募企画数5企画 ②参加者数30人	総事業費 133	総事業費 206	B	

(3) 伝統文化の継承・発展

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	市									
1	基本施策3 (3) ①		小学生いながげ講座	市民ギャラリー・いなげにおいて、小学生を対象に「稲毛一海の記憶」を伝える講座を開催する。子供たちに貴重な文化財がある街を誇りに思ってもらえるよう、旧神谷伝兵衛稲毛別荘のガイドと共に稲毛の歴史を解説する。	指定管理者 指定管理料	(公財)千葉市教育振興財団 市民局生活文化課-7部文化振興課	(公財)千葉市教育振興財団 市民局生活文化課-7部文化振興課	開催日:5月18日(木)他10日間 場所:旧神谷伝兵衛稲毛別荘 参加校:11校 平成29年9月初旬~平成30年11月に旧神谷伝兵衛稲毛別荘の耐震改修工事を予定していたため、年度初めに市内小学校に周知した結果、多くの学校が休館前に見学に訪れた。また、工事の延期に伴い平成30年2月より臨時開館したため23月の見学受け入れも可能となった。	参加校11校	開催日:年間通して随時受け入れ 場所:千葉市民ギャラリーいなげおよび旧神谷伝兵衛稲毛別荘 特記:平成30年6月1日~平成31年11月まで旧神谷伝兵衛稲毛別荘が耐震改修工事に伴い休館となるため、参加校はあまり見込めない可能性が高い。	参加校 10校	総事業費 0	総事業費 0	B	
2	基本施策3 (3) ①		郷土芸能の周知啓発	神楽・お囃子等の市内に伝わる郷土芸能に対する市民の理解を深め、ふるさと意識を醸成するために周知啓発を行う。	市 主催	教育委員会事務局生涯学習部文化財課	教育委員会事務局生涯学習部文化財課	市内に伝わる郷土芸能を紹介するホームページ(千葉市の民俗芸能)のコンテンツ充実。 平成29年4月~平成30年3月のアクセス数 363件	アクセス数の増加 1,000件	市内に伝わる郷土芸能を紹介するホームページ(千葉市の民俗芸能)のコンテンツを充実させる。 (取材が困難な場合は、各団体から写真データの提供を依頼するなどの対策を行う)	アクセス数の増加 500件	総事業費 0	総事業費 0	C	平成29年度の目標設定時と状況が異なり、郷土芸能保存協会に加盟する12団体のうち2団体が休会・解散、4団体が補助金の交付申請を行わず、対象団体が6団体になったことにより、取材の機会が減ったため。
3	基本施策3 (3) ②		市民ギャラリー・いなげ旧神谷伝兵衛稲毛別荘の改修	保存活用計画に基づく施設の改修を実施し、歴史的建造物の保存とともに、地域の文化活動・交流の場としての活用を推進する。	市 主催	市民局生活文化課-7部文化振興課	市民局生活文化課-7部文化振興課	未実施。 ※平成29~30年度から平成30~31年度事業への見直し。	予定工事の完了	実施設計に基づき、耐震改修工事を行う。 工期:平成29年11月初旬~平成30年12月予定(2カ年継続事業)	予定工事の完了	総事業費 0	総事業費 60,000	C	2度の入札不調に伴い、平成29年度の工事の出来高を見込めなくなったため。
4	基本施策3 (3) ②	基本施策5(1)① 基本施策4(2)①	地域の歴史文化発掘の場をつくる	地域住民や専門家が集い、地域の歴史文化を発掘、情報共有していく場をつくる。	指定管理者 指定管理料	(公財)千葉市教育振興財団 市民局生活文化課-7部文化振興課	(公財)千葉市教育振興財団 市民局生活文化課-7部文化振興課	①「稲毛お話し会」 開催日:7月9日、11月11日 場所:千葉市民ギャラリーいなげ 参加人数:49名 講師:西川明氏(元千葉市史編纂委員)、白井孝氏(NPO法人ちば生涯歴史調査会) ②「カフエkaiki」 開催日:8月10日、11日 場所:旧神谷伝兵衛稲毛別荘 来場者数:約150名 千葉アートネットワーク・プロジェクト(WICAN)との連携事業として開催。	約150名	①「いなげお話し会」 開催日:7月8日(日)、11月予定 場所:千葉市民ギャラリーいなげ 参加見込人数:30人 ②「カフエkaiki」 今年は平成30年6月より旧神谷伝兵衛稲毛別荘の耐震改修工事期間となるため開催は未定。	参加人数:30人	総事業費 52	総事業費 55	B	
5	基本施策3 (3) ②		郷土芸能の後継者養成	神楽をはじめお囃子・獅子舞等の郷土芸能を伝承する団体による、後継者養成を支援し、継承・発展を図る。	その他 後援 補助金	千葉市郷土芸能保存協会	教育委員会事務局生涯学習部文化財課	千葉市郷土芸能保存協会に加盟する10の無形民俗文化財保持団体(神楽連・囃子連)がそれぞれ後継者育成事業を実施 参加延べ人数 2,035人	参加延べ人数 3,500人	千葉市郷土芸能保存協会に加盟する10の無形民俗文化財保持団体(神楽連・囃子連)がそれぞれ後継者育成事業を実施	参加延べ人数 2,500人	総事業費 523	総事業費 554	-	平成29年度の目標設定時と状況が異なり、郷土芸能保存協会に加盟する12団体のうち2団体が休会・解散、4団体が補助金の交付申請を行わなかったことで、調査対象の団体が半分の6団体に減ったため。

基本施策4 千葉文化の担い手を「つなぐ」

(1)情報の効果的な収集・発信

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
1	基本施策4 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	海気通信 周辺散策マップ	市民ギャラリー・いなげにおいて、地域の歴史や記憶を地元住民から伺う機会を設け(いなげお話し会)、そこから得られた魅力的な情報を「海気通信」として広く発信する。また、稲毛地域を周遊できる散策マップを作成し、地域の見どころを発信する。	(公財)千葉市教育振興財団	指定管理料	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	発行回数:周辺散策マップ1回、海気通信4回(12号、13号、14号、号外) 配布先:市内の文化・教育施設、小中学校、商店、メディアほか	発行回数 計5回	発行回数:周辺散策マップ1回、海気通信3回 配布先:市内の文化・教育施設、小中学校、商店、メディアほか	発行回数 計4回	総事業費 83	総事業費 100	B	
2	基本施策4 (1) ②		アーツステーション ちば 【情報収集・発信】	文化センターにおいて、文化芸術振興の拠点施設として市内内外の文化芸術情報を収集するとともに、様々なツールを用いて戦略的かつ効果的に情報を発信する。	(公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	様々なツールを駆使して文化芸術情報の収集・発信拠点を構築する。 ①文化情報アーカイブの構築に向けた検討 ②文化情報ポータルサイト「アーツステーション」の開設準備 ③あでは読者ハガキ120通(日・10,000部発行) あでは読者ハガキ 78通 ④「アーツステーション」アカウントのSNSによる発信 フェイスブック評価「いいね」375件	①構想の立案 ②ポータルサイト開設準備 ③あでは読者ハガキ120通 ④フェイスブック評価「いいね」数350件	様々なツールを駆使して文化芸術情報の収集・発信拠点を構築する。 ①文化情報アーカイブの構築に向けた検討 ②文化情報ポータルサイト「アーツステーション」の開設準備 ③文化情報誌「あでは」のリニューアル(A4判、8ページ、隔月25日・10,000部発行) ④「アーツステーション」アカウントのSNSによる発信	①構想の立案 ②ポータルサイト開設準備 ③あでは読者ハガキ120通 ④フェイスブック評価「いいね」数350件	総事業費 2,868	総事業費 2,789	B	

(2)多様な協働・連携の促進

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
1	基本施策4 (2) ①		アーツステーション ちば 【交流サロン】	文化センターにおいて、市民が気軽に訪れることができる文化芸術情報の総合窓口として、よろず相談、交流スペースの情報を掲示するほか、活動者の交流を促す親睦交流会も定期的に開催する。	(公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	市内のイベント情報を掲示しミーティング等にも活用できる交流サロンを開設し、市民が気軽に文化芸術に関する様々な相談ができる「よろず相談」を実施した。 ①よろず相談:通年、72件 ②親睦交流会:11月15日(水) 参加者数:23人	①相談件数75件 ②交流会1回	市内のイベント情報を掲示しミーティング等にも活用できる交流サロンを開設し、市民が気軽に文化芸術に関する様々な相談ができる「よろず相談」を実施する。 ①よろず相談(通年) ②親睦交流会(年1回)	①相談件数75件 ②交流会1回	総事業費 33	総事業費 94	B	
2	基本施策4 (2) ①		2020おもてなし プロジェクト	文化センターにおいて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて増加が見込まれる訪日外国人をターゲットとして魅力的な文化イベントを検討する。	(公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け活動している学生団体との連携の可能性を探る。また、関連イベントの視察を実施した。 意見交換会 日程:5月12日(金)、10月25日(水)、12月27日(水) 会場:千葉市文化センター 交流サロン	意見交換会2回程度	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け活動している学生団体との連携を図る。事業名を2020おもてなしプロジェクトに変更する。 意見交換会 日程:6月~3月(年2回) 会場:千葉市文化センター 交流サロン ほか	意見交換会2回程度	総事業費 6	総事業費 195	B	
3	基本施策4 (2) ②		地域連携事業 (夜灯し祭参加)	市民ギャラリー・いなげにおいて、夜灯し祭への参加を通し、地域の持つ歴史的背景を文化芸術を介して紹介することで、地域への愛着及び文化への興味向上を図る。	(公財)千葉市教育振興財団	指定管理料	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	開催日:11月25日(土)、26日(日) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ庭園 来場者数:1384名	来場者数 1,000名	開催日:11月24日(土)、25日(日) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ庭園 来場者込み:1000人	来場者数:1000人	総事業費 91	総事業費 95	B	
4	基本施策4 (2) ③	基本施策1(1)① 基本施策4(2)①	千葉アート ネットワーク・ プロジェクト (千葉大学との 連携事業)	大学・美術館・商店街などの多岐にわたる様々な分野の団体が連携し、アーティストと市民が「アートと千葉の新たな結びつき」を共に模索していくプロジェクトを実施する。	千葉アートネットワーク・プロジェクト実行委員会		市民局 生活文化課-7部 文化振興課	市民の芸術文化育成・地域活性化を目的とし、千葉大学や地域NPO、市内の小・中学校等と連携、市内内外の芸術家を招いてアートイベント等を実施する。 ①関美能留・粟津裕介ワークショップ「自分の枠をはみ出してみよう」9/17、11/23 11階講堂、講師:関美能留(舞台演出家)、粟津裕介(舞台音楽家) 参加者9人 ②「ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信」鑑賞教育プログラムの実施 協力校:大権小学校 10/13 ファンリレーター(大学)12人、美術館ボランティア4人 ③「サンキューアートの日参加」企画「アートを祝う「わたし」を演じる〜最初に歌いだすのは誰だ〜」3/9 会場:中央区中央3丁目YSビル、講師:関美能留(舞台演出家)、粟津裕介(舞台音楽家) 参加者22人	年1回	市民の芸術文化育成・地域活性化を目的とし、将来の美術館機能の拡張計画を念頭に、美術館を核とした地域の芸術文化を育成・活性化するためのプログラムを、千葉大学や地域NPO、市内の小・中学校等と連携、市内内外の芸術家を招いて実施する。	通年	総事業費 1,010	総事業費 965	B	

基本施策5 文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」

(1) 魅力ある資源の活用

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の開わり	主催 負担金									
1	基本施策5 (1) ①		車椅子アートプロジェクト	千葉市における車椅子スポーツの振興にあわせて、文化芸術の視点から車椅子をテーマにイベント等を実施する。	車椅子アートプロジェクト実行委員会	市 市民局生活文化課-7部文化振興課	市 市民局生活文化課-7部文化振興課	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、文化的なアプローチから共生社会の実現を目指すため、ファッションやダンスパフォーマンスなどを通して、健康者と障害者が一緒になって楽しむことができるイベントを実施した。※「東京2020公認文化オリンピック」認証イベントとして実施 【チバリアフリー2018】 開催日:1月28日(日)10:00~17:00会場:イオンモール幕張新都心 グランドモール1階 グランドコート 内容: ①ステージイベント ファッションショー、ダンスパフォーマンス、手話パフォーマンス 1日で2回実施(1回目13:00~13:45、2回目15:00~15:45) ②スポーツ用車椅子展示 2台(常設) ③電動車椅子試乗体験コーナー ④千葉市立高等特別支援学校の作業学習の様子をパネル展示 ※②~④は17時まで実施 出演者:61人、スタッフ:87人 観客数:1,300人(1回目700人、2回目600人) 電動車椅子試乗体験の参加者:75人	観客数1,000人	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、文化的なアプローチから共生社会の実現を目指すため、ファッションやダンスパフォーマンスなどを通して、健康者と障害者が一緒になって楽しむことができるイベントを実施する。 開催日:1月頃 会場:イオンモール幕張新都心	観客数1,500人	総事業費 2,773	総事業費 5,000	B	
2	基本施策5 (1) ①		ちば文化発信事業	文化センターにおいて、県内の文化芸術を一堂に会した見本市(展示・公演・ワークショップ)を全館を使って開催し、広くちば文化の魅力を発信する。	(公財)千葉市文化振興財団	指定管理者 市民局生活文化課-7部文化振興課	指定管理者 市民局生活文化課-7部文化振興課	文化センター内の多施設を使用した参加、体験型のまつりを実施する。アーティストバンクちば登録者、千葉市文化連盟所属団体等に参加していただき実施した。 文化センター伝統芸能まつり 実施日:平成29年11月11日(土) 会場:文化センター 5・6・9階(文化センター全館、※3Fホールは工事により貸出中止) チケット販売枚数:前売セット券3セット 当日券 体験チケット148枚、コンサートチケット45枚 参加・来場者数 5階市民サロン いけばな展示237人、いけばな体験35人、お雛子ミニコンサート80人 5階第1リハーサル室 尺八コンサート8人、日舞所作体験5人、尺八体験7人 5階セミナー室 茶会102人 6階スタジオ1 お琴コンサート32人、三味線コンサート62人 6階和室 和服着付け体験7人 6階第2リハーサル室 和歌・水墨画体験8人、交流コーナー36人 入場者数計599人	入場者数430人	文化センター内の多施設を使用した参加、体験型のまつりを実施する。アーティストバンクちば登録者、千葉市文化連盟所属団体等に参加していただき実施する。 文化センター伝統芸能まつり 日程:11月下旬 会場:千葉市文化センター 全館 入場料:3,000円	入場者数430人	総事業費 1,420	総事業費 1,415	B	
3	基本施策5 (1) ①	基本施策1(1)① 基本施策3(1)①	美術館展示	優れた美術品の鑑賞機会を多くの市民に提供するため、米館者の希望や開催意義などを考慮しつつテーマを設定し、それに基づいた展示を行う。	(公財)千葉市教育振興財団	指定管理者 市民局生活文化課-7部文化振興課	指定管理者 市民局生活文化課-7部文化振興課	企画展:「ウォルター・クレインの本の仕事」ほか5展覧会を実施 所蔵作品展:「色で楽しむ現代美術」ほか4展覧会を実施 講演会など:企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施 展覧会総入場者数:128,096人	入場者数 152,000人	企画展:「百花繚乱列島」ほか6展覧会を実施 所蔵作品展:「菱川師宣とその時代」ほか5展覧会を実施 講演会など:企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施	入場者数 152,000人	総事業費 125,970	総事業費 133,397	B	
4	基本施策5 (1) ①	基本施策1(1)① 基本施策3(1)①	市民ギャラリー・いなげ展示	美術を身近に感じてもらうため、千葉と関わりが深い作家展、千葉市内の子供たちが参加する展覧会など、魅力ある企画展を開催する。1階のロビーでは、不定期で千葉にゆかりのある作家の紹介や市内施設と連携した展示などを行う。	(公財)千葉市教育振興財団	指定管理者 市民局生活文化課-7部文化振興課	指定管理者 市民局生活文化課-7部文化振興課	【海の記憶を伝える稲毛展】会期:7月4日(火)~17日(月祝) 来場者数:854人 【世界児童画展千葉展】会期:8月1日(火)~6日(日) 来場者数:632人 【創造海岸いなげ展】会期:8月8日(火)~20日(日) 来場者数:1575人 【千葉市中学美術部展】会期:8月8日(火)~20日(日) 来場者数:1929人 【アーティストと展示をつくる】会期:12月19日(火)~1月7日(日) 来場者数:527人 【藤澤保子漆芸の展開IV】会期:1月4日(木)~14日(日) 来場者数:1466人 ※同時開催のギャラリー・いなげゆかりの作家展の人数込。 【山口マオ絵本とイラストレーションの世界2】会期:2月1日(木)~2月18日(日) 来場者数:982人 来場者数7,965人	来場者数6,000人	【世界児童画展千葉展】会期:7月31日(火)~5日(日) 来場者見込:700人 【創造海岸いなげ展】会期:8月14日(火)~26日(日) 来場者見込:800人 【千葉市中学美術部展】会期:8月14日(火)~26日(日) 来場者見込:800人 【アーティストと展示をつくる】会期:12月26日(水)~1月13日(日) 来場者見込:500人 【千葉市近郊の工芸展】会期:1月4日(金)~14日(月祝) 来場者見込:1600人 特記:ギャラリー・いなげゆかりの作家展も同時開催。 【武藤亜希子作品展】会期:2月7日(木)~24日(日) 来場者見込:1000人	来場者数 6100人	総事業費 1,189	総事業費 1,500	A	新聞社やテレビ局への積極的な宣伝により、多くのメディアで会期前・会期中に展覧会を紹介いただいた。

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
5	基本施策5 (1) ①	基本施策1(1)① 基本施策3(1)①② 基本施策4(2)③	地域の歴史文化を活かした展示	市内の文化施設、博物館施設などの連携し、地域の歴史文化を活かした展示を開催する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	①企画展「海の記憶を伝える『稲毛』展」 千葉市指定有形文化財・旧生浜町役場庁舎を運営するNPO法人ちば・生浜歴史調査会と連携し、生浜・稲毛に共通する漁具や海苔の養殖の道具など海の記憶を伝える資料を紹介した。 開催日:7月4日～17日 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場者数:854名 ②稲毛八景水彩画コンクール作品展 「稲毛八景」をテーマにした絵画作品を公募し、入選作品を展示した。 開催日:11月11日～30日 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場者数:2414名 来場者数計3,268人	来場者数計1,300人	①企画展「稲毛の夏休み～海の記憶を伝える～」 開催日:7月3日(火)～16日(月祝) 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場者数:700名 ②第2回稲毛八景水彩画コンクール作品展 開催日:11月17日(土)～12月2日(日) 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場者数:500名 特記:今回より「子ども部門」も新設し拡張する。	来場者数:1200名	総事業費 138	総事業費 150	A	「稲毛八景水彩画コンクール」の会期中、「夜灯まつり」でギャラリー・いなげを夜間特別開館した結果、多くの来場があった。また、関連イベント(いなげお話し会)の開催も影響。
6	基本施策5 (1) ①	都市アイデンティティの確立	千葉市の歴史やルーツに根差した地域資源である「加曾利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」などを活用し、都市アイデンティティ(千葉市らしさ)を確立する。	市	総合政策局 総合政策部 都市アイデンティティ推進課	総合政策局 総合政策部 都市アイデンティティ推進課	都市アイデンティティを確立するため、4つの地域資源を活用しながら、絵本の配付やシンポジウム開催などの年代別アプローチを行うとともに、映像製作などのプロモーション活動を推進する。 年代別アプローチ ・絵本「ちばじまん」の配布 ・4つの地域資源を紹介する下駄の配布 ・歴史特別講義 ・シンポジウム開催 環境整備 ・駅前案内看板設置 プロモーション活動 ・映像制作(加曾利貝塚、オオガハス、海辺) ・その他プロモーション活動、ポスター・グッズ作成 都市間連携 ・日本遺産申請 ・親子三代夏まつりへの千葉氏ゆかりの都市の出席	千葉市都市アイデンティティ戦略プランに掲載している各種指標の現在値からの向上	本市固有の4つの地域資源(加曾利貝塚・オオガハス・千葉氏・海辺)を活用し、都市アイデンティティの確立を目指す。特に、本年が千葉常胤生誕900年という節目の機会であることから、記念行事や第2回千葉氏サミットを開催するとともに、千葉開府900年祭に向けた行動計画を市民団体と協力して策定する。 【千葉常胤生誕900年PR】 ・記念行事 ・モノレールラッピング ・PR画像・映像放映 【都市間連携】 ・親子三代夏祭り出展 ・千葉氏サミット開催負担金 ・親子三代夏祭り出展 ・都市間連携調整費 【千葉開府900年祭に向けた取り組み】 ・行動計画策定 ・市民団体(まちづくり協議会)との連携 ・郷土教育・啓発活動 【その他】 ・下駄「ちばしのじまん」の制作・配付 ・日本史特別授業の実施	千葉市都市アイデンティティ戦略プランに掲載している各種指標の現在値からの向上	総事業費 9,686	総事業費 25,798	-	毎年度指標の数値を把握することができないことから、29年度は実績値がない。	
7	基本施策5 (1) ①	基本施策2(2)① 都市文化賞	都市文化の向上や魅力あるまちづくりのため、良好な景観形成に寄与すると認められた街並み、屋外広告物、建築物等を表彰する。	市	都市局 都市部 都市計画課 (都市景観デザイン室)	都市局 都市部 都市計画課 (都市景観デザイン室)	募集期間:7月3日～8月31日 第1次審査:9月20日 第2次審査:10月8日 受賞者発表:11月21日 表彰式:12月17日(場所:千葉市美浜文化ホール) 実績: 応募総数:36件 フォーラム参加者:100人	魅力ある景観形成と都市文化の向上に対する意識の啓発と景観資源の発掘を目指す。 応募総数の増加 50件 フォーラムの参加者 150人	募集期間:7月1日～8月31日 第1次審査:9月下旬 第2次審査:10月上旬 受賞者発表:11月下旬 表彰式を実施:12月下旬(場所:千葉市生涯学習センター) 応募総数:50件 ※例年の開催時期について見直し検討中	魅力ある景観形成と都市文化の向上に対する意識の啓発と景観資源の発掘を目指す。 応募総数の増加 50件	総事業費 633	総事業費 633	C	応募総数が減少しており、応募方法について検討が必要。	
8	基本施策5 (1) ②	基本施策5(1)② おススメ・カルチャー・プラットフォーム	高校生を中心とした若者文化の情報を集約・発信する仕組みを構築するとともに、高校生による実行委員会の組織化を図る。	実行委員会	おススメカルチャー・プラットフォーム実行委員会	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	【CFエス2018】と題し、高校生によるバンド・ダンスの発表の場を設けた。 開催日:2月17日(土)13:00～19:00 会場:ライブハウスSTARNITE 内容: ステージイベント 出演:計16組 ・バンド演奏 15組、ダンスパフォーマンス1組 ※バンドについては各組に対してアドバイザーによる講評あり 出演者・観客数 ・出演者 77人(高校生バンド:64人、ダンス:13人) ・講師 3人 ・観客数:133人	高校生が活躍するイベント等を開催する	高校(顧問教諭や生徒)へのヒアリングを行ったうえで、行政に対するニーズを把握し、前回CFエスをブラッシュアップする。高校生に対する技術向上や発表の機会の充実を図ることのできる事業展開を図る。 開催時期:初秋(10月)以降	観客数150人	総事業費 1,070	総事業費 1,500	B		

(2) 魅力ある人材の活用

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成29年度実施実績	平成29年度目標	平成30年度実施予定	平成30年度目標	平成29年度決算額(千円)	平成30年度予算額(千円)	平成29年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
1	基本施策5 (2) ①	基本施策2(1)③ 基本施策2(2)②	アーツステーションちば 【アーティストバンク】	文化センターにおいて、千葉市ゆかりのアーティストのコーディネートを行い、人材育成事業と連携しながら効果的な人材活用を図る。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	千葉市ゆかりのアーティストの活動の場を広げるためのサポートをする。 ・アーティストの募集 ・登録アーティストの管理 登録数:プロ288組、アマチュア52組 登録アーティストの斡旋 活動数:プロ432件、アマチュア103件 登録アーティスト紹介	①登録数(プロ270組・アマチュア55組) ②活動数(プロ200回・アマチュア30回)	千葉市ゆかりのアーティストの活動の場を広げるためのサポートをする。 ・アーティストの募集 ・登録アーティストの管理 ・登録アーティストの斡旋 ・登録アーティスト紹介	①登録数(プロ290組・アマチュア55組) ②活動数(プロ250回・アマチュア50回)	総事業費 116	総事業費 171	B	
2	基本施策5 (2) ①	基本施策2(2)② アトリウムコンサート	生涯学習センターにおいて、千葉市にゆかりのある音楽団体・音楽家や、将来音楽家を目指している学生などに演奏する場を提供するとともに、年間を通して継続的なコンサートを行い、市民が気軽に音楽に触れる機会を提供することで、千葉市の文化芸術の活性化を図る。また、これにより音楽を通じた生涯学習活動の推進を図るとともに、豊かな市民生活の一助とする。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	やすらぎのアトリウムコンサート(年3回) ①5月27日(土)「チェロと三味線の響き」 出演:チェロ:大森 健一、三味線:桂城 杜生 ②6月24日(土)「初夏の景色」 出演:箏:朝香 桂子、朝香 麻美子 ③10月22日(土)「フルートとバイオリンでお届けする名曲集」 出演:ヴァイオリン:奥山 佳代子 フルート:宮本 夢加 *場所はすべて生涯学習センター ①300人 ②250人 ③150人	来場者数:各回300人	やすらぎのアトリウムコンサート(年5回) ①5月21日(土)～春空に響くソプラノの調べ～ 出演:尾形 晃子(ソプラノ)、久保 祥子(ピアノ伴奏) ②6月24日(日)「津軽三味線と民謡の響き」 出演:桂希 杜生・馬場 邦彰(三味線)、錢太鼓(安藤 龍希)、歌(坂本 りえ) ③9月29日(土)「竹のこえに耳をすませば(仮)」 出演:木下 卓巳・長谷川 友美・三宅 まどか(竹楽器) ④12月2日(日)「聖夜のフラスアンサンブル(仮)」 出演:畑 潤・長江 純(トランペット)、山本 春奈(ホルン)、三國 裕子(トロンボーン)、今川 英悟(チューバ) ⑤1月27日(日)「新春に贈る弦楽のしらべ(仮)」 出演:大森 健一(チェロ)、他3名(弦楽器) *場所はすべて生涯学習センター	来場者数:各回300人	総事業費 150	総事業費 267	B		
3	基本施策5 (2) ①	基本施策2(2)② 千葉市議会 議場コンサート	千葉市の地域文化の創造と市議会を市民にとってより身近で親しみやすいものとするため、議場にて演奏会を開催する。	市	議会事務局 総務課	議会事務局 総務課	千葉市芸術文化新人賞受賞者等、市にゆかりのあるアーティストによるコンサートを開催 「千葉市議会議場コンサート2018」 日程:平成30年2月20日(第1回定例会開会日 開会前) 場所:千葉市議会本会議場 一般入場者数:88人	一般入場者数:92人 (傍聴席上限)	千葉市芸術文化新人賞受賞者等、市にゆかりのあるアーティストによるコンサートを開催 「千葉市議会議場コンサート2019」 日程:第1回定例会開会日 開会前 場所:千葉市議会本会議場	一般入場者数:92人 (傍聴席上限)	総事業費 279	総事業費 0	B		
4	基本施策5 (2) ②	基本施策5(1)② アーツステーションちば 【文化サポーターバンク】	文化センターにおいて、文化芸術に係る人材の登録・管理・コーディネートを行い、人材育成事業と連携しながら効果的な人材活用を図る。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	文化サポーターとして登録・管理を行い、「舞台セミナー」、「ボランティア養成講座」などと連携しつつ、財団事業やその他のイベント等への参加を図る。 登録数 68人 活動回数 74回	①登録数60人 ②活動数述べ80件	文化ボランティア、文化マネージャー、文化団体、サークル、NPO、メセナ企業などに活躍の場を広げるサポートをする環境の整備。 文化サポーターとして登録・管理を行い、「舞台セミナー」、「ボランティア養成講座」などと連携しつつ、財団事業やその他のイベント等への参加を図る。	①登録数60人 ②活動数述べ80件	総事業費 148	総事業費 94	B		